

# 簿記検定講座

BOOKKEEPING

TAC LICENSE SCHOOL

## 受講ガイド

通学・通信共通

2026年4月～

3級・2級：2026年4月受講～

1級：2026年・2027年合格目標

### TAC WEB SCHOOL マイページにご登録ください

登録方法の詳細は別冊「TAC利用ガイド」をご参照ください。

マイページで  
できること

#### Web動画視聴

Web講義視聴  
と  
学習状況の進捗管理  
も  
できます！

#### ネット試験対策

充実した3級2級の  
ネット試験対策  
ツールが  
利用いただけます！

#### 成績表の閲覧

提出された一部の  
演習・答練は、  
採点后に各自で閲覧  
いただけます！

#### 関連情報の入手

試験申込に関するご案内  
や講座からのお知らせ  
などの情報を  
入手できます！  
メールでもお届けできます。

受講終了まで大切に保管してください

**TAC**

# 日商簿記検定試験について

## 必ずご確認ください

日商簿記検定試験は、統一試験およびネット試験(3級・2級のみ)にて実施されます。

統一試験は、例年、6月の第2日曜日、11月の第3日曜日および2月の第4日曜日に実施されます。ネット試験は、随時申込受験となります。

本試験の概要につきましては、変更となる場合もございますので予めご承知おきください。

なお、**受験申込手続きは必ず皆様方ご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。**

	統一試験 (紙の試験)	ネット試験 (PC の試験)
受験資格	制限なし	制限なし
申込方法	インターネットでの申込み、商工会議所窓口での申込みなど、各商工会議所により申込手続き方法や申込期間が異なります。必ずホームページをご確認ください。  ※東京23区内では、3・2級の統一試験は実施されません(ネット試験のみ実施)	インターネットでの申込みおよび会場への問い合わせでの申込みとなります。 インターネット申込みの場合、「テストセンター」の全国统一申込サイトから、受験希望日時、受験希望会場、受験者情報などを入力いただき、クレジットカード、コンビニ払いにより受験料および申込手数料を決済します。
受験料 (税込)	(3級) 3,300円 (2級) 5,500円 (1級) 8,800円 なお、商工会議所により事務手数料等が別途発生する場合があります。	(3級) 3,300円 (2級) 5,500円 なお、インターネット申込みの場合、事務手数料550円が別途発生します。
試験日	年に3回実施 (6月の第2日曜日、11月の第3日曜日、2月の第4日曜日) なお、2月は1級の実施はありません。	申込み専用サイト上で、受験希望日を選択します。なお、受験会場により、受験可能日は異なります。
試験時間	(3級) 60分 (2級) 90分 (1級) 180分	(3級) 60分 (2級) 90分
合格発表	3級・2級は試験後約2～3週間後に、1級は試験後約2か月後に発表となります。合格発表日は商工会議所により異なるため、詳細はホームページをご確認ください。	試験終了後、自動採点のうえ、その場で合格判定が出ます。
電卓および筆記用具	計算器具は、電卓もしくはそろばんが使用できます。筆記用具については、黒鉛筆(HもしくはHB)、シャープペンシル、消しゴムに限ります。	計算器具は電卓のみ使用できます(そろばんは持込不可)。筆記用具については、各テストセンターの指示に従ってください。

(2026年3月現在)

◆日商簿記検定試験に関する詳細は下記までお問い合わせください。

日本商工会議所・各地商工会議所 ホームページ <http://www.kentei.ne.jp/>

(所在地・お問い合わせ先は、商工会議所により異なります。各地のホームページをご参照ください。)



# はじめに

この度は、TAC簿記検定講座をご受講いただきましてまことにありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。したがって、本書はこれから簿記検定試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC簿記検定講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC簿記検定講座

# 簿記検定講座 受講ガイド

## CONTENTS

### 通学メディア・通信メディア共通編

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 会員証について         | P 04 |
| 2. 講義・教材について       | P 06 |
| 3. 演習・答練について       | P 15 |
| 4. 公開模試について        | P 16 |
| 5. 質問・相談について       | P 16 |
| 6. 各種フォロー・サービス対応表  | P 20 |
| 7. 各種サービス提供期限一覧    | P 22 |
| 8. 教育訓練給付制度について    | P 24 |
| 9. 簿記検定講座オリジナルサービス | P 28 |

### 教室講座編

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 欠席した場合のフォロー      | P 36 |
| 2. もう一度講義を受講したい場合   | P 38 |
| 3. 答案の採点および成績発表について | P 39 |

### ビデオブース講座編

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1. 答練等の受講、答案の採点および成績発表について | P 42 |
| 2. 答練・演習の教室振替について          | P 43 |
| 3. もう一度講義を受講したい場合          | P 43 |

### 通信メディア編

- |             |      |
|-------------|------|
| 1. 教材発送について | P 46 |
| 2. 答案添削の流れ  | P 47 |
| 3. 学習サポート機能 | P 52 |
| 4. スクーリング   | P 53 |

### オリエンテーション編

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 学習に先立って        | P 56 |
| 2. 学習の進め方         | P 59 |
| 3. 試験への取り組み方      | P 61 |
| 4. 日商簿記検定3級の傾向と対策 | P 64 |
| 5. 日商簿記検定2級の傾向と対策 | P 68 |
| 6. 日商簿記検定1級の傾向と対策 | P 74 |

### 巻末

- |                  |
|------------------|
| 1. 質問カード         |
| 2. 新規入会者紹介制度     |
| 3. 合格報告のお願い      |
| 4. 日商簿記ステップアップ割引 |
| 5. NEXT割引        |
| 6. お問い合わせ先一覧     |

### マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。登録をまだ行われていない場合は、[\[http://portal.tac-school.co.jp\]](http://portal.tac-school.co.jp)にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

### 以下については別冊「TAC利用ガイド」またはTAC WEB SCHOOLをご覧ください。

### 通学メディア・通信メディア共通編

1. TAC利用上の注意事項
2. 講座開始日と受講期間
3. 会員証について
4. TAC WEB SCHOOL について
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 災害時の対応・行動
9. 教材を紛失した場合
10. 住所等を変更される場合 ※
11. 在籍証明書・履修証明書について

### 教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 教材の受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法

### 通信メディア編

1. 教材発送について
2. WEBでの受講方法
3. TAC WEB SCHOOLでの受講方法
4. Schoo Swingでの受講方法

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は「TAC利用ガイド」巻末に収録しています。

# 通学メディア・通信メディア共通編

# 1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

## 1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりにお出席したものと扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

## 2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。

教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキューニングを行います（通信メディアの方がスクリーニングを利用する際も同様です）。

ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

**※もし会員証を忘れてしまったら…**

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。

「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキューニングを行います。
- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキューニングを行う場合があります。

また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド』の通学メディア・通信メディア共通編「6. 自習室について」をご確認ください。

### 3. 会員証の有効期限

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
- (2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
- (3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

### 4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

### 5. 会員証を紛失した場合

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3cm×2.4cm。紛失した会員証の枚数+1枚）」③「印鑑」をご用意ください。
- (2) 再発行の際は、再発行手数料〔会員証1枚につき500円（税込）〕がかかります。
- (3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものと扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。  
また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 再発行会員証のお渡しは申請書受取日から原則3日後となります。

## 2 講義・教材について

### 1. 講義一覧

2026年3月現在

講義名	内容	3・2級ステップ合格本科生(し)	3級合格本科生	3級商簿講義	3級直前対策	3級解法テクニク講義	3・2級スツキリパック	3級スツキリパック	3・2級みん欲し!パック	3級みん欲し!パック
3級	3級商簿講義	●	●	●	-	-	-	-	-	-
	3級ポイント解説Web講義	-	-	-	-	-	●	●	●	●
	3級解法テクニク講義	●	●	-	-	●	-	-	●	●
	3級総まとめ講義演習	●	●	-	●	-	-	-	-	-
	3級プレ答練	●	●	-	●	-	-	-	●	●
	3級解法力完成答練	●	●	-	●	-	-	-	●	●
									第1回	第1回

各コースで実施する講義に●印がついています。

講義名	内 容	3・2級ステップ合格本科生(シ)	2級合格本科生	2級講義パック	2級直前対策	2級スタートアップ講義	2級解法テクニック講義	3・2級スッキリパック	2級スッキリパック	3・2級みんな欲し！パック	2級みんな欲し！パック
2級スタートアップ講義	2級の学習開始前に3級の学習内容を効率的に学習できる講義です。	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-
2級講義 (商簿・工簿)	出題頻度の高い論点を中心に2級合格のために必要な商簿・工簿の基礎知識を身につける講義です。	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-
2級ポイント解説Web講義 (商簿・工簿)	1回約30分で、テーマごとのポイント学習ができる講義です。 スッキリとみんな欲しは異なるWeb講義です	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●
2級解法 テクニック講義	本試験レベルの問題集をもとに解答力をさらに養成する講義です。	●	●	-	-	-	●	-	-	●	●
2級総まとめ 講義演習	総合問題を通じて本試験の傾向を踏まえた対策・解法テクニックを学習する講義です。	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-
2級 プレ答練	解法力完成答練の前に問題の解き方の手順を確認する講義です。	●	●	-	●	-	-	-	-	●	●
2級解法力 完成答練	本試験形式の問題演習を通して時間配分や解答手順を確認すると同時に重要論点の再確認を行います。	●	●	-	●	-	-	●	●	●	●
								第1-2回	第1-2回	第1-2回	第1-2回

各コースで実施する講義に●印がついています。

2026年・2027年目標

講義名	内 容	1級合格本科生	1級講義バック	1級直前対策	1級全国公開模試	1級収益認識対策セミナー	工簿・原計数式マスター講義	1級スタートアップ講義	1級レベルアップ答練	1級意思決定対策セミナー
1級スタートアップ講義	1級の学習開始前に2級の学習内容を効率的に確認できる講義です。	●	-	-	-	-	-	●	-	-
講義 (商会・工原)	1級合格のために必要な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算の各内容を身につける講義です。また、講義内で定期的に基礎答練を実施し、総合問題への対応方法・解法テクニックも身につけます。	●	●	-	-	-	-	-	-	-
直前講義演習 (商会)	的中答練の前に、改正論点の講義と重要論点の復習を行います。	●	-	●	-	-	-	-	-	-
直前講義演習 (工原)	的中答練の前に、基礎論点の再確認と重要論点の復習を行います。	●	-	●	-	-	-	-	-	-
的中答練 (商会・工原)	本試験形式の問題演習を通して時間配分や解答手順を確認すると同時に重要論点の再確認を行います。	●	-	●	-	-	-	-	-	-
全国公開模試	本試験直前の実践演習の場として、TACの本試験予想に基づき、TAC受講生以外の方も受験する全国規模の本試験形式の予想模試です。	●	-	●	●	-	-	-	-	-
[単科] 収益認識 対策セミナー	過去の本試験で出題された収益認識基準を分析し、問題を解きながら新基準の内容を解説します。※Web通信講座のみ	-	-	-	-	●	-	-	-	-
[単科] 工簿・原計数式 マスター講義	1級の工業簿記・原価計算の重要論点である「部門別計算」や「意思決定」の一部で必要となる数式や数学の考え方を解説します。※Web通信講座のみ	-	-	-	-	-	●	-	-	-
[単科] レベルアップ 答練	1級の標準的レベルの総合問題を早い段階から取り組むことで、基礎力の向上および演習の強化につとめます。※Web通信講座のみ	-	-	-	-	-	-	-	●	-
[単科] 意思決定対策 セミナー	特に苦手意識を感じやすい意思決定の問題について、解答のコツや考え方、解き方を伝授します。※本科生・パックス生限定 ※Web通信講座のみ	-	-	-	-	-	-	-	-	●

1級初学者

各コースで実施する講義に●印がついています。

2026年・2027年目標

講義名		内 容	1級上級合格本科生	1級上級演習	1級直前対策	1級全国公開模試
1級 受験 経験者	上級講義 (商会)	商業簿記・会計学の出題予想に基づいた論点を重点的に学習しつつ、その他の論点も網羅的に復習する講義です。	●	-	-	-
	上級講義 (工原)	工業簿記・原価計算の重要論点を復習する講義です。また、講義内では、演習を用いながら問題への対応方法・解法テクニックを解説します。	●	-	-	-
	上級演習 (商会・工原)	本試験形式のハイレベルな問題演習を通じて、重要論点の確認を行うとともに、早い段階で直前期に向けて得点を養います。	●	●	-	-
	直前講義演習 (商会)	的中答練の前に、改正論点の講義と重要論点の復習を行います。	●	-	●	-
	直前講義演習 (工原)	的中答練の前に、基礎論点の再確認と重要論点の復習を行います。	●	-	●	-
	的中答練 (商会・工原)	本試験形式の問題演習を通して時間配分や解答手順を確認すると同時に重要論点の再確認を行います。	●	-	●	-
	全国公開模試	本試験直前の実践演習の場として、TACの本試験予想に基づき、TAC受講生以外の方も受験する全国規模の本試験形式の予想模試です。	●	-	●	●

各コースで実施する講義に●印がついています。

2. コース別配布教材一覧

2026年3月現在

講義名	内容	3・2級ステップ合格本科生(レ)	3級合格本科生	3級商簿講義	3級直前対策	3級解法テクニック講義	3・2級スッキリパック	3級スッキリパック	3・2級みんな欲しーパック	3級みんな欲しーパック	
3級	3級商簿講義	●	●	●	-	-	-	-	-	-	
	3級ポイント 解説Web講義	スッキリわかる日商簿記3級 スッキリわかる本試験予想問題集	-	-	-	-	-	●	●	-	-
		簿記の教科書 日商3級 簿記の問題集 日商3級	-	-	-	-	-	-	-	●	●
	3級解法 テクニック講義	●	●	-	-	●	-	-	●	●	
	3級総まとめ 講義演習	●	●	-	●	-	-	-	-	-	
	3級プレ答練	●	●	-	●	-	-	-	●	●	
	3級解法力 完成答練	●	●	-	●	-	-	-	● 第1回	● 第1回	

※教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。ログイン後、学習フォローの「正誤情報」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

講義名	内 容	3・2級ステップ合格本科生(上)	2級合格本科生	2級講義ハック	2級直前対策	2級スタートアップ講義	2級解法テクニク講義	3・2級スツキリパック	2級スツキリパック	3・2級みんな欲し！パック	2級みんな欲し！パック
2級	2級スタートアップ講義	2級スタートアップ講義 テキスト	-	●	-	-	●	-	-	-	-
	2級商簿講義 工簿講義	合格テキスト 商簿・工簿 合格トレーニング商簿・工簿 ミニテスト 実力テスト (通信メディアのみ)	●	●	●	-	-	-	-	-	-
	2級ポイント 解説Web 講義	スツキリわかる2級商簿・工簿 スツキリわかる本試験予想問題集 簿記の教科書 2級商簿・工簿 簿記の問題集 2級商簿・工簿	-	-	-	-	-	●	●	-	-
	2級解法 テクニク 講義	合格するための本試験問題集 (2級)	●	●	-	-	-	●	-	-	●
	2級総まとめ 講義演習	2級総まとめ講義演習	●	●	-	●	-	-	-	-	-
	2級プレ 答練	2級プレ答練	●	●	-	●	-	-	-	●	●
	2級解法力 完成答練	2級解法力完成答練①～④	●	●	-	●	-	-	●	●	●

第1・2回 第1・2回 第1・2回 第1・2回

### ※教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。ログイン後、学習フォローの「正誤情報」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

2026年・2027年目標

講義名	内 容	1級合格本科生	1級講義ハック	1級直前対策	1級全国公開模試	1級スタートアップ講義	1級レベルアップ答練	1級収益認識対策セミナー	工簿・原計数式マスター講義	1級意思決定対策セミナー
1級初学者	1級スタートアップ講義	2級商業簿記合格テキスト 2級商業簿記合格トレーニング 2級工業簿記合格テキスト 2級工業簿記合格トレーニング	●	-	-	-	●	-	-	-
	講義(商会)	1級合格テキスト商会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1級合格トレーニング商会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1級合格テキスト解答用紙商会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ミニテスト 基礎答練①～④	●	●	-	-	-	-	-	-
	講義(工原)	1級合格テキスト工原Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1級合格トレーニング工原Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1級合格テキスト解答用紙工原Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 原価計算基準レジュメ ミニテスト 基礎答練①～④	●	●	-	-	-	-	-	-
	直前講義演習	直前講義演習冊子(商会・工原)	●	-	●	-	-	-	-	-
	的中答練	(各科目)的中答練①～⑤	●	-	●	-	-	-	-	-
	全国公開模試	全国公開模試 問題 解答解説冊子	●	-	●	●	-	-	-	-
	レベルアップ答練	(各科目)レベルアップ答練①～⑤	-	-	-	-	-	●	-	-
	収益認識対策セミナー 工簿・原計数式マスター講義 意思決定対策セミナー	講義録(We b通信講座のみ)	-	-	-	-	-	-	●	●

※「日商簿記1級合格するための過去問題集」は、必要に応じてご自身でご購入ください

※教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。ログイン後、学習フォローの「正誤情報」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

2026年・2027年目標

講義名		内 容	1級上級合格本科生	1級上級演習	1級直前対策	1級全国公開模試
1級 受験 経験者	上級講義 (商会)	1級合格テキスト商会Ⅰ 1級合格トレーニング商会Ⅰ 1級合格テキスト商会Ⅱ 1級合格トレーニング商会Ⅱ 1級合格テキスト商会Ⅲ 1級合格トレーニング商会Ⅲ	●	-	-	-
	上級講義 (工原)	1級合格テキスト工原Ⅰ 1級合格トレーニング工原Ⅰ 1級合格テキスト工原Ⅱ 1級合格トレーニング工原Ⅱ 1級合格テキスト工原Ⅲ 1級合格トレーニング工原Ⅲ 原価計算基準レジュメ	●	-	-	-
	上級演習 (商会・工原)	(各科目) 上級演習①～⑥	●	●	-	-
	直前講義演習 (商会・工原)	(各科目) 直前講義演習冊子	●	-	●	-
	的中答練 (商会・工原)	(各科目) 的中答練①～⑤	●	-	●	-
	全国公開模試	全国公開模試 問題・解答解説冊子	●	-	●	●

※「日商簿記1級合格するための過去問題集」は、必要に応じてご自身でご購入ください

※教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。ログイン後、学習フォローの「**正誤情報**」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

### 3. データ等での提供教材一覧

教材名	デジタル教材	WEBSCHOOL 学習サポート	講義録
基本講義テキスト	—	—	—
ミニテスト	—	—	●
実力テスト (3級・2級 通信)	—	—	—
1級基礎答練	—	—	●
1級上級演習	—	—	●
1級レベルアップ答練	—	—	●

デジタル教材 (当講座ではご提供しておりません)

WEB SCHOOL 上のメニュー「学習サポート」の「デジタル教材」より、教材の閲覧ページに遷移します。

モバイル端末の場合は、TAC デジタル教材 (DIGITAL 教材) アプリのインストールが必要です。ストアアプリで「TAC デジタル教材」を検索してインストールしてください。

WEBSCHOOL 学習サポート

WEBSCHOOL 上のメニュー学習サポートの中の「教材」に掲載しています。

講義録

WEBSCHOOL 上で配信している講義と一緒に掲載している講義録の中に収録しています。

各教材の受け渡しは申込みいただいたコースに準拠します。

通学講座の皆様にはご登録校舎の窓口でお渡しします。会員証をご提示の上窓口でお受け取りください。

通信講座の皆様にはご登録された送付先にお送りします。通信メディア編「1. 教材発送について」をご確認ください。

## 3 演習・答練について

演習や答練の実施は、種類によって異なります。採点方法と答案返却方法も合わせてご確認ください。

※\*は添削課題です。 ※3級・2級の実力テストは通信メディアのみとなります。

講座名称	演習・答練	合計
3級みんな欲し！パック／ 3・2級みんな欲し！パック（3級）	3級プレ答練 3級解法力完成答練（第1回のみ）*	1回 1回
3級合格本科生／ 3・2級ステップ合格本科生 （3級）	3級実力テスト* 3級総まとめ講義演習（冊子） 3級プレ答練（配付・解説動画のみ） 3級解法力完成答練（全3回）*	1回 2回 1回 3回
2級スッキリパック／ 3・2級スッキリパック（2級）	2級解法力完成答練（第1回・2回）*	2回
2級みんな欲し！パック／ 3・2級みんな欲し！パック（2級）	2級プレ答練* 2級解法力完成答練（第1回・2回）*	1回 2回
2級合格本科生／ 3・2級ステップ合格本科生 （2級）	2級実力テスト*（商簿：1回／工簿：1回） 2級総まとめ講義演習（冊子） 2級プレ答練* 2級解法力完成答練（全4回）*	2回 3回 1回 4回
1級合格本科生	1級基礎答練*（商会：4回／工原：4回） 1級的中答練*（商会：5回／工原：5回）	8回 10回
1級上級合格本科生	1級上級演習（商会：6回／工原：6回） 1級的中答練*（商会：5回／工原：5回）	12回 10回
全経上級対策	答練（商会：1回／工原：1回）（講義録添付）	2回

※添削についての詳細はP.33「7. デジタル添削およびWeb閲覧サービス」、P.34「デジタル添削およびWeb閲覧のご案内」をご覧ください。

## 4 公開模試について

日商簿記1級コースでは、全国規模の公開模試を実施します。本試験の受験を予定されている方は、必ず受験しましょう。

※実施日についてはHP掲載の「簿記検定講座 日程表」をご参照ください。

※一般教育訓練給付制度の出席要件・添削課題には含みません。

- (1) **受験登録手続**：お申込みコースの中に**全国公開模試**が含まれている場合は、**公開模試専用**の受験番号を発番する「**受験登録手続**」が必要となります。

受験登録手続は、全国公開模試の約2ヵ月前からTAC WEB SCHOOLや各校受付で承ります。受験登録手続のご案内についても同時期より開始いたします。

※通信メディアを受講されている方は、自動的に**自宅受験**となります。会場受験へ変更の場合のみ、期日までに手続きを行ってください。

- (2) 講義パックのみお申込みの方は、別途お申込みが必要です。

受付開始は、全国公開模試実施日の約2ヵ月前からとなります。

## 5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。

学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のご用意しております。

### 1. 教室講義前後（教室講座のみ）

講義前後に質問・相談を受け付けますので、講師に直接お声掛けください。また、質問が長い場合は、質問内容を書面にてご用意していただき、会員番号と氏名を明記の上、担当講師に直接手渡ししてください。

### 2. 質問カード（ビデオブース講座、Web通信講座・DVD通信講座のみ）

巻末掲載の質問カードをご出力いただき、会員番号・氏名・質問事項を記入し、ビデオブース講座の方は各校受付窓口に、通信講座の方は郵送にてそれぞれご提出ください。

※質問1回につき、質問事項は1項目にてお願いします。

※質問をいただいてから約2週間程度で回答を郵送いたします。時期や内容により異なりますので、予めご了承ください。

※質問カードの提出締切は、通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」をご覧ください。

※受講コースによって質問可能回数が異なりますので、ご注意ください。

※質問カードが不足したときには、お手数ですがご自身でコピーしてご使用ください。  
 ※本試験日間近のご提出の場合、本試験日までにご返却できない場合がございます。予めご了承ください。

※資料通信講座は対象外です。

### 3. 質問メール（教室講座・ビデオブース講座・Web通信講座・DVD通信講座）

学習サポート内に付属している質問メールにてご質問していただくことができます。同じく学習サポート内の「よくある質問」も参考にしてください。

※質問1回につき、質問事項は1項目にてお願いします。

※質問をいただいてから約1週間～2週間で回答します。

※質問メールの利用方法は通信メディア編「**3**学習サポート機能」をご参照ください。

※質問メールの最終締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」をご覧ください。

※受講コースによって質問可能回数が異なりますので、ご注意ください。

※資料通信講座は対象外です。

質問メール・質問カード利用に際しての上限回数（質問メール・質問カードの合算回数となります）

	3級		2級		3・2級	
	スッキリ	みんな欲し!	スッキリ	みんな欲し!	スッキリ	みんな欲し!
パック生	5回	10回	10回	20回	15回 3級:5回 2級:10回	30回 3級:10回 2級:20回

	3級	2級	3・2級 ステップ	1級	1級上級
本科生	20回 講義期:10回 直前期:10回	40回 講義期:30回 直前期:10回	60回 3級講義:10回 2級講義:30回 直前期:20回	80回 講義期:60回 直前期:20回	40回 講義期:20回 直前期:20回
講義パック	10回	10回	—	10回	—
直前対策	10回	10回	—	20回	

※「日商簿記初級」「原価計算初級」2回、それ以外の単科生は質問メール・質問カードはご利用いただけません。

### 4. 質問電話（全コース共通 \*スッキリパック・みんな欲し!パックは対象外）

(1) 実施時間帯

電話番号はTAC WEB SCHOOL  
 をご確認ください

○印:実施	月	火	水	木	金
14:00～17:00	○	×	○	×	○
18:00～20:00	○	×	○	×	○

- ①土日、祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆の期間はお休みとさせていただきます。予めご了承ください。
- ②試験の実施日程や諸般の事情により、実施日程に変更が生じる場合がございます。その際は確定次第お知らせいたします。
- ③上記日時以外にお電話いただきましても、ご対応することはございません。また、各校受付にお電話いただきましても、ご対応することはできません。

#### (2) 質問電話利用時の流れ

— まず担当講師は、皆さんに以下について伺います —

- ①会員番号、お名前をお伝えください。
- ②受講されているコース名をお伝えください。
- ③受講されている学習メディアをお伝えください。

※上記の①～③が不明な場合は質問を受け付けることができません。ご注意ください。

— 次に、ご質問の箇所について明確にお話してください —

- ④科目名および質問したいテキストや問題集等の名称
- ⑤何ページ（科目名も含め）のどの部分について
- ⑥何をどのように疑問に思ったのか。

予めご自分の質問内容が整理されていますと、講師も短時間で回答できますし、より具体的に説明することが出来ます。

《注意事項》下記事項を予めご了承くださいますようお願い致します。

※ご質問の際、講師の指名等には応じかねます。

※多くの方にご利用いただくため、1コマ1回あたり 20 分程度のご利用をお願いする場合がございます。

※質問が集中し、実施時間帯であっても通話中となる場合がございます。

※17:00 もしくは 20:00 終了間際のご質問の場合、内容によっては翌営業日以降に対応をさせていただきます。

※正確な回答に徹するため、講師が調べて確認するためのお時間をいただく場合がございます。その場合には、1度受話器を置かせていただきます。確認が終わり次第、質問を受けた講師から折り返し回答いたします。

## 5. 質問内容について

受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用される教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。

受け付けできない質問内容の場合は、回答をしないで返却させていただきます。予めご了承ください。

★質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。ご利用の際は、以下の内容にご注意ください。

- (1) 皆様から寄せられる質問カード・質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみまし

よう。時間はかかるかもしれませんが、そうやって身につけた知識は決して忘れないものです。

- (2) 質問カード・質問メールは上手に使うことで実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的であればあるほど、講師も確実に回答することができます。

## 6. オンライン学習相談 (全メディア共通)

Z o o mを利用して担当講師と質問・学習相談を行う制度です。画面を共有しながら質問・相談ができますので、質問電話や質問メールとは違ったZ o o mならではの回答が得られます。

※事前予約制です。

※実施日程はTAC WEB SCHOOLでご案内します。

## 7. 「ガンバルメッセージ」について (Web通信講座・DVD通信講座のみ)

「ガンバルメッセージ」はご希望された方を対象に学習の進め方に関する相談内容に対し、メール(3・2級)・お電話(1級)にて返答させていただく制度です。講義・学習内容に関するご質問は上記、質問メール・質問カード、質問電話をご利用ください。ご利用方法等詳細は第1回の教材発送時にご案内致します。

	3級・2級	1級
本科生・講義パック	メール	お電話
パック生(みんな欲し!・スッキリ)	—	—
直前対策・単科・オプション	—	—

## 8. 質問カード見本

- ①宛名欄：返却時にそのまま宛名として使用します。正確にご記入ください。
- ②使用教材・ページ数を必ずご記入の上、質問内容を具体的にご記入ください。

簿記検定講座 質問カード返却用データファイル

住所: 〒100-0001 東京都千代田区千代田3-2-1  
氏名: 水道橋 花子  
年齢: 21歳

※返却用データファイル記入上の注意:  
①住所・氏名・年齢等は正確に記入し、  
②ご記入いただいた住所に送付希望の教材が送付されるので、丁寧に記入してください。

簿記検定講座 質問カード

年 6 月 合格目標

【通信メディア用】 ~ご協力をお願いします~  
右上の合格目標年月を必ずご記入ください。  
対象対象: 合格目標年月未試験日の2週間前までのTAC簿記。  
科目に關しての上記記載: 受講が目的を参照してください。

氏名: 水道橋 花子 様  
年齢: 21歳  
〒: 0123456789

申込コース: 1級・1級上級・1級アドバンス  
2級・~~2級~~ 3級PLUS  
科目: 商簿・工簿・会計学・原簿計算

受講形態: Web通信講座・DVD通信講座

教材: 3級合格トレーニング  
科目: 商業簿記  
ページ: テキストVer. 14.0 p.25 問題5-8

※コース、教材名は詳しく記入してください。  
※教材名のないもの、試験対策と直接関係のない資料は受付できません。  
※質問カード1枚につき、1枚の質問にしてください。  
※裏面に返却先の住所氏名を記入してください。

送付先: 〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町  
3-2-18 TAC 通信教育部 行

質問事項:  
商品有償性の問題で、資料に誤植が与えられていて、商品有償性の記入の取扱が不明です。この取扱について、  
花子は本人の付いた資料に与えられているのでしょうか?

回答:  
商品有償性というは、商品の原価と商品の増減および残高の管理と関係が深くなります。  
受入欄・払出欄・残高欄について、原価を記入し、残高の資料は用紙の  
ようにします。  
商品有償性の問題では、しぼり出されて売上総利益の計算を問われます。  
売上総利益は売上高から売上原価を差し引くことで計算されますので、  
売上高(=売上×販売数量)を計算標準に原価を用いるようにします。

講師名: \_\_\_\_\_

## 6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申込みのコース・学習メディアに応じて下表の通りです

	本科生				パックス生・単科生			
	教室講座	ビデオブース講座	オンライン通信講座	通信メディア	教室講座	ビデオブース講座	オンライン通信講座	通信メディア
クラス振替出席フォロー	●	—	—	—	●	—	—	—
ビデオブース振替フォロー	◎ (500円/回)	—	—	—	◎ (500円/回)	—	—	—
校舎間自由視聴制度	—	●	—	—	—	●	—	—
クラス重複出席フォロー※講義部分のみ	●	—	—	—	●	—	—	—
ビデオブース重複フォロー※講義部分のみ	◎ (500円/回)	◎ (500円/回)	—	—	◎ (500円/回)	◎ (500円/回)	—	—
Webフォロー	●	●	●	● (DVD通信)	●	●	●	● (DVD通信)
追っかけフォロー	●	●	—	—	●	●	—	—
ビデオブース生教室出席フォロー (直前期教室出席制度)	—	● (直前期のみ)	—	—	—	—	—	—
1級通信生スクーリング(直前期のみ)	—	—	—	● ★1	—	—	—	—
学習サポート	●	●	●	●	●	●	●	●
アーカイブフォロー	—	—	●	—	—	—	●	—
質問メール ※利用制限有・詳細はP.17	●	●	●	● ★1	●	●	●	●
質問電話	●	●	●	●	●	●	● ★2	● ★2
質問カード ※利用制限有・詳細はP.16	—	●	●	●	—	●	●	●
ガンバルメッセージ	—	—	●	●	—	—	● (講義パックのみ)	● (講義パックのみ)
再受講割引制度	●	●	●	●	—	—	—	—
1・2・3級合格返金制度	●	●	●	●	—	—	—	—
1級合格祝賀金制度	●	●	●	●	—	—	—	—

「●」：標準装備 「◎」：有料サービス 「—」：該当なし

★1 資料通信はご利用不可 ★2 スッキリバック・みんな欲しバックはご利用不可

クラス振替出席 フォロー	ご都合により出席できない場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です (手続き不要)。※教室講座の他のクラスが開講している場合にご利用いただけます
ビデオブース 振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です [要予約・1講義500円(税込)]。
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース視聴ができる制度です。なお、当該講座を開講している校舎に限ります。
クラス重複出席 フォロー	もう一度受講したい場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です (手続き不要)。なお、講座の指定した講義に限ります。
ビデオブース 重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です。 [要予約・1講義500円(税込)]。なお、講座の指定した講義に限ります。
Webフォロー※1	教室講義を収録した動画をWebにて視聴できます。
追っかけフォロー	開講日後に申し込みの場合、ビデオブース視聴にて教室講座の日程に追いつける制度です(要予約・手数料不要)。
ビデオブース生 教室出席フォロー	直前期のカリキュラムに関して、教室講座に出席できる制度です。
1級通信生 スクーリング※2	TAC各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。 会員証をお持ちの上、直接出席希望校舎にお越しください。
アーカイブフォロー	オンラインライブ通信で配信された動画を視聴できます。
学習サポート	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「よくある質問」「正誤情報」「講師からのメッセージ」のメニューから構成されています。 ※質問メールは教室講座・ビデオブース講座・Web通信講座・DVD通信講座が対象です
質問電話	学習上の疑問点についてお電話で回答します。
質問カード	学習上の疑問点をご記入いただき、回答をご返送します。
再受講割引制度	本科生コースで受講された方が、次回以降の同一コースまたは同じ級の直前対策を再受講される場合、割引価格で受講できる制度です。受講料の詳細は「簿記検定講座パンフレット」にてご確認ください。教材改訂があった場合は、別途ご自身で購入いただけます。 (詳細はP.28 <a href="#">9</a> 簿記検定講座オリジナルサービス内をご覧ください。)
1級・2級・3級 合格返金制度	1級・2級・3級の各本科生をお申込み後、お申込み前に受験(統一試験に限る)した級の合格が判明した場合、受講料を全額返金いたします(詳細はP.28 <a href="#">9</a> 簿記検定講座オリジナルサービス内をご覧ください)。
1級合格祝賀金制度	1級本科生で受講され目標年月の統一試験に合格された場合、合格祝賀金を進呈いたします(詳細はP.28 <a href="#">9</a> 簿記検定講座オリジナルサービス内をご覧ください)。

※1 【Web フォローで受講する場合の講義録閲覧について】

ポータル画面の「講義一覧」における「講義録」のPDFをクリックすると表示されます。  
詳しくは、別冊「TAC利用ガイド」またはTAC WEB SCHOOLをご覧ください。

※2 【スクーリングで答練を受講する場合の注意事項】

教室にて答練を受講し提出された場合もデジタル添削を実施しており、Web上での閲覧になります。教育訓練給付制度を利用して受講中の方は、スクーリングに出席された教室では答案を提出せず、郵送にて提出してください。教室で提出された場合、提出率に加算されませんのでご注意ください。

## 7 各種サービス提供期限一覧

### 簿記検定講座

各種サービス提供期限一覧 [会員証記載の有効期限まで]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

例) 会員証有効期限	6月目標	6/30 (会員証記載)
	11月目標	11/30 ( " )
	2月目標	2/28 ( " )

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け渡し 請求期限	会員証記載の 有効期限	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。 ※棚卸時期により、期日が異なる場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース (フォロー) 視聴期限		ビデオブースのご予約は、 <u>有効期限の前日</u> までにお手続きください。
通信メディアの教材問い合わせ期限		期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・講義音声ダウンロード・ アーカイブフォロー利用期限		期限後は講義などの視聴ができなくなります。 一部コースは <u>有効期限の翌月末日</u> です。
学習サポート利用期限		期限後はご利用できなくなります。

サービス内容	期限	詳細
質問電話利用期限	会員証記載の有効期限	質問電話の実施時間帯は、 月・水・金【14：00～17：00／18：00～20：00】 です。
質問カード・質問メール	会員証記載の有効期限 <u>TAC必着</u>	有効期限内に質問回答をお受け取り（閲覧）いただけるよう、余裕をもってご提出ください。
答案提出期限		有効期限内に採点済み答案を閲覧いただけるよう、余裕をもってご提出ください。
Web成績閲覧期限	会員証記載の有効期限	期限後はTAC WEB SCHOOL へのログインができなくなり、成績表が閲覧できなくなります。 一部コースは有効期限の翌月末日です。

注1：公開模試（自宅受験）の答案提出期限などは専用案内パンフレットなどでご確認ください。

注2：通信メディア受講で教育訓練給付金制度をご利用の場合、修了日まで答案を受付いたしますが、  
答案の採点を希望される場合は、上記のとおり講座が定める期日までにご提出ください。

各自の修了日までに全提出課題の8割以上をご提出ください。

詳細は、通学メディア・通信メディア共通編「**8**教育訓練給付制度について」のページを参照してください。

※3級・2級「直前対策」は他のコースとは異なり、年度で【前期】【中期】【後期】となっております。

「スッキリパック」「みんな欲し！パック」「合格本科生(通信メディアのみ)」の受講期間は、

3級：3ヵ月、2級：6ヵ月、3・2級：8ヵ月となっております。

その他、個別に有効期限を設定しているコースもございます。

会員証に記載の有効期限をご確認くださいませようお願いいたします。

## 8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。現在TACで開講している講座は、「専門実践教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

### 一般教育訓練給付制度 [2026年3月現在]

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った入会金・受講料の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。制度ご利用にあたっては「TAC教育訓練給付制度パンフレット」を必ずご確認ください。

#### 1. 一般教育訓練対象コース

通学メディアはコースによって対象となる受講期間や開講月が異なります。制度ご利用をご希望の場合は「TAC教育訓練給付制度パンフレット」で対象となる【コース名・開講月・試験目標年月】の組み合わせをご確認ください。

受講形態	対象コース
通学メディア (教室(1級)・ビデオブース)	3・2級ステップ合格本科生 ※1
	3・2級ステップ合格本科生ロング ※2
	2級合格本科生
	1級合格本科生
通信メディア (DVD・Web)	3・2級ステップ合格本科生
	2級合格本科生
	1級合格本科生
	1級合格本科生[1年コース]

※1 「3・2級ステップ合格本科生」は2級の目標月が、3級目標月の次回となるコースが対象です。

※2 「3・2級ステップ合格本科生ロング」は2級の目標月が、3級目標月の次々回となるコースが対象です。

#### 2. 講座申込時

講座のお申込みから1ヶ月以内に、「TAC/Wセミナー教育訓練給付制度申請申込書」に必要事項をご記入の上、TACへご提出ください。講座のお申込みだけですと、教育訓練給付制度申込の登録は完了していません。必ずご提出ください。併せてご本人確認のため、本人および住居の確認ができるものをご提示ください。郵送で提出する場合は、本人および住居の確認ができるもののコピーを添付してください。

## ★支給要件の照会

ご自身に教育訓練給付金の支給要件があるかどうかをハローワークで照会することができます。照会に必要な「教育訓練給付金支給要件照会票」はTAC各校舎にもございます。ご自身の支給要件について不安がある方は、予め確認してから教育訓練給付制度申込をしていただく事をお勧めします。TACでは支給要件を満たしているかどうかの判断はできません。ご了承ください。

## 3. 受講にあたって

### ◆通学の場合

#### 修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに出席率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

\* 「3・2級ステップ合格本科生」の3級部分の講義は3級試験目標の期間内でご受講ください。

3級部分の出席が5回未満の場合は修了要件を満たす事ができませんのでご注意ください。

\* 下記の講義は出席回数に含まれません。

「3級・2級解法テクニック講義」「3級プレ答練」「2級・1級スタートアップ講義」「1級全国公開模試」

#### 出席確認

講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読取を受けてください。

ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。

出席状況は「TAC WEB SCHOOL」⇒「マイページ」⇒「学習記録」⇒「出席状況」にてご確認いただけます。修了日までに出席率80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。

出席状況の確認方法等につきましては、別冊の[TAC利用ガイド]⇒[通学メディア・通信メディア共通編]⇒[4. TAC WEB SCHOOL について]に掲載しております。

#### 登録のクラスを欠席したら

通学形態のフォロー制度（教室振替制度・ビデオブースフォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。Webフォローなど通信形態での受講や資料の受取りだけの場合は、出席として扱われません。ご注意ください。

#### 修了日について

通学生の修了日は、対象コース全体の講義最終日以降にTACが修了要件を確認する日です。講義最終日の約1週間後となります。各指定講座の修了日は、修了試験問題送付時にご案内いたします。※会員証に記載の「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。

## ◆通信の場合

### 修了認定するための基準（修了要件）

TAC/Wセミナーでは、修了日までに添削答案提出率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

### 答案の提出

添削答案をご提出の際は専用の封筒でご郵送ください。白紙答案や著しく解答の記入が少ない答案は提出と認められませんのでご注意ください。

1 級スクーリングに出席された場合、提出率の対象となる添削答案については教室で提出せず、通常通り郵送でご提出ください。

提出率の対象となる答案は以下のとおりです。各自の修了日までにお送りください。

### 通信講座の提出対象添削答案

[2026年3月現在]

講座名称	添削課題内訳（※）	合計
3・2級ステップ 合格本科生 (受講期間8ヵ月)	3級実力テスト…1回 (3級総まとめ講義演習・3級プレ答練……自宅学習) 3級解法力完成答練……3回 2級実力テスト…2回 (2級総まとめ講義演習……自宅学習) 2級プレ答練……1回 2級解法力完成答練……4回	11回
2級合格本科生 (受講期間6ヵ月)	2級実力テスト…2回 (2級総まとめ講義演習……自宅学習) 2級プレ答練……1回 2級解法力完成答練……4回	7回
1級合格本科生 (受講期間6ヵ月・12ヵ月)	1級基礎答練……8回、1級的中答練……10回	18回

※ 添削課題の内容は変更になる場合があります。最新の情報は教材発送日程表もしくは送付明細書でご確認ください。

### 受講期間と修了日について

受講される講座の初回発送日から上記の受講期間を経過した期日が修了日となります。各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別にTACよりご案内します。

修了日まで答案を受付いたしますが、答案の採点を希望される場合は講座が定める期日までにご提出ください(詳細は [7](#)各種サービス提供期限一覧をご確認ください)。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。修了日以前に修了要件を満たされても、修了証明書等の発送は各自の修了日以降となります。

※Web配信、各種フォローは、会員証の有効期限等、各講座が定める期日までとなります。

修了日までご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

#### 4. 教育訓練給付制度 修了試験について

修了試験は受講後半に [TAC WEB SCHOOL]⇒[学習フォロー]⇒ [Web 答練] で実施いたします。下記実施時期にアクセスしていただき、設定されている解答送信期限内に解答を送信してください。

簿記検定認定テスト (修了試験) 実施時期

【6月試験目標】4月中旬～5月中旬 【11月試験目標】9月下旬～10月下旬

【2月試験目標】12月下旬～1月下旬

※正答率60%以上に満たなかった方や期間内に解答できなかった方で追試をご希望の方は、校舎受付窓口もしくは給付金係にお申出ください。

※資格試験(本試験)の受験および可否は教育訓練給付制度の支給要件とは関係ありません。

#### 5. 講座修了時

所定の期間内に要件を満たして修了された方には、修了日の翌日にTACより「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の3点を郵送いたします。修了日から1週間以内に書類が届かない場合は至急TACまでご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。

住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

#### 6. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークでの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して1ヶ月以内です。※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

#### 7. 教育訓練給付制度に関する詳細

■TACのホームページにある一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>

■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

[https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance\\_education.html](https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html)

■TAC教育訓練給付制度パンフレット

・TAC各校舎にございます。 ・TACカスタマーセンターでもご請求いただけます。

「TAC教育訓練給付制度」パンフレット請求

TACカスタマーセンター

0120-509-117

月～金 10:00～19:00 / 土日祝 10:00～17:00

## 9

## 簿記検定講座オリジナルサービス

## ◆各種制度

簿記検定講座では、様々な制度をご用意しています。ご自身の都合に合わせてご利用ください。  
 なお、各種制度のご利用には、会員証が必要となります。また、各種割引制度は、代理店割引・他の割引制度・各種キャンペーンとの併用はできません。 予めご了承ください。

## 1. 再受講割引制度

本科生コースで受講を修了された方が、次期以降の同一コース、同じ級の直前対策を再度受講される場合には、受講料を割引します（通常受講料の約30%OFF）。

受講料の詳細は、パンフレット受講料一覧にてご確認ください。

## ●ご利用可能なコース

以前の受講コース	ご利用可能なコース
3・2級ステップ合格本科生 3・2級ステップ合格本科生(L)	3級合格本科生、3級直前対策、 2級合格本科生、2級直前対策、 3・2級ステップ合格本科生(L)
2級ダイレクト合格本科生 現在は販売しておりません	2級合格本科生、2級直前対策
3級合格本科生 ※1	3級合格本科生、3級直前対策
3級早朝コース 現在は販売しておりません	
3級合格本科生PLUS 現在は販売しておりません	
2級合格本科生 ※1	2級合格本科生、2級直前対策
2級上級合格本科生 現在は販売しておりません	
1級合格本科生	1級合格本科生、1級上級合格本科生、1級直前対策
アドバンス合格本科生 現在は販売しておりません	
1級上級合格本科生	

※1 3級合格本科生と2級合格本科生を両方受講されていた方は、3・2級ステップ合格本科生(L)も再受講割引対象コースとなります。

ただしe受付では再受講割引の適用ができません。校舎窓口または郵送でお申込みください。

### 【「再受講割引制度」ご利用上の注意点】

- ・「合格テキスト・合格トレーニング（TAC出版）」または「合格するための本試験問題集（TAC出版）」はお渡ししておりませんので、ご自身で教材をご用意ください。ただし、テキスト・トレーニング・本試験問題集は試験傾向に合わせて改訂・変更することがございます。改訂・変更があった場合は別途お買い求めください。使用するテキスト・トレーニング・本試験問題集のバージョンは「簿記検定講座パンフレット」をご確認ください。  
テキスト・トレーニング・本試験問題集はTAC各校舎またはTAC出版書籍販売サイト「Cyber Book Store」でご購入いただけます。
- ※1級本科生には「1級合格テキスト・トレーニングセット」を本科生割引価格でご用意しております。e受付およびTAC各校舎または郵送で、コース申込みと同様の手続きでご購入いただけます。
- ・カリキュラム変更によりご利用いただけるサービス内容が変更になる場合がございます。

## 2. 合格返金制度（1級・2級・3級 各本科生）

本科生をお申込み後、お申込み前に受験した統一試験の合格が判明した場合は、実際にお支払いされた受講料をご指定口座へ全額返金いたします。

※お申込みされた本科生が受験級と同一の場合に限ります。

また、振込手数料などご返金にかかる費用はお客様負担となります。

- (1) ①会員証、②合格証書、③ご本人確認書類、④印鑑、⑤お渡し済み教材をご持参の上、受付でお手続きしてください。
- (2) 本試験合格発表後、2週間以内にお申し出ください。  
合格発表と合格証書交付が異なる場合は、合格証書交付後2週間以内にお申し出ください。
- (3) 返金までに10日～2週間ほどお時間をいただきます。

## 3. 日商簿記ステップアップ割引制度

簿記検定講座各本科生を受講されていた方が簿記上位級の本科生または他資格へのステップアップの際に受講料が10%割引となる制度です。

※再受講割引で本科生コースをお申込みの方も対象となります。

※単科・パックでお申込みの方は対象外です。巻末のNEXT割引がご利用いただけます。

## ●ご利用可能なコース

以前の受講コース	日商簿記ステップアップ割引 対象コース				
	3・2級 ステップ合格 本科生(L)	2級 合格本科生	1級 合格本科生	1級上級 合格本科生	他資格の 対象講座※
3級 合格本科生	●	●	●	☆	●
3級合格本科生 PLUS	●	●	●	☆	●
3・2級ステップ 合格本科生 (L)	—	—	●	☆	●
2級ダイレクト 合格本科生	—	—	●	☆	●
2級(上級) 合格本科生	—	—	●	☆	●
1級 合格本科生	—	—	—	★	●
1級アドバンス 合格本科生	—	—	—	—	●
1級上級 合格本科生	—	—	—	—	●

★ 「1級合格本科生」から「1級上級合格本科生」へのお申込みには「1級再受講割引制度」がご利用いただけます。

☆ 日商簿記ステップアップ割引の適用可能ですが、受験経験者向けコースとなりますのでご注意ください。

※ 他資格の対象講座については、TACホームページをご確認いただきますようお願い致します。

## 【「日商簿記ステップアップ割引制度」ご利用上の注意点】

- ・当制度は、簿記検定講座「本科生」のお申込み日からご利用いただけます。
- ・簿記検定講座本科生コースへのステップアップ割引のご利用には、利用回数の制限および有効期限はございません。他講座受講後に簿記検定講座上位級をお申込みの場合も適用となります。
- ・簿記検定講座以外の講座へのステップアップ割引のご利用は、簿記検定講座本科生1コースにつき1回のご利用となります。なお、簿記検定講座本科生コースへのステップアップと併用も可能です。

	簿記検定講座(本科生)への ステップアップ	他講座へのステップアップ
利用回数	制限なし	簿記検定講座本科生 1コースにつき1回
有効期限	期限なし	本科生受講期間中から受講されたコースの 会員証有効期限の翌年同月最終日まで

#### **4. 新規入会者紹介制度（特典：入会者・紹介者へ電子マネーギフト3,000円分）**

TAC会員の方（紹介者）が、TAC簿記検定講座の受講が初めての方（入会者）を、1級合格本科生・1級上級合格本科生のいずれかのお申込みにご紹介いただいた場合、紹介者・入会者にそれぞれ3,000円分の電子マネーギフトを差し上げます。詳細は、巻末をご覧ください。

※一部の提携校では当制度の運用は行っておりません（詳細は各提携校にお問い合わせください）。

※今後、特典内容は変更になる場合がございます。

※厚生労働省の指導により、一般教育訓練給付制度をご利用される場合、受け取られた特典はハローワークに給付申請をする際に実質的な受講経費の値引きとして取り扱われ、申告する必要があります。

#### **5. 1級合格祝賀金制度**

「1級合格本科生」「1級上級合格本科生」で受講され、目標月の統一試験で1級試験に合格された場合、合格祝賀金として20,000円を進呈いたします。

※直前対策などパック・単科は対象外です。 ※学習メディアは問いません。

※一部の提携校（詳細は各提携校にお問い合わせください）・企業研修等は対象外です。

- (1) 申請期限内にTAC HPから「合格報告・アンケート」に入力をさせていただきます。  
申請期限は、6月試験は8月末まで、11月試験は1月末までです。
- (2) 申請期限後（6月試験は9月上旬、11月試験は2月上旬）に簿記検定講座より必要書類並びに返信用封筒を送付します。
- (3) 必要書類一式（①返金依頼書、②ご本人確認書類（免許証等）のコピー、③1級合格証書のコピー）を簿記検定講座に返送していただきます。
- (4) 必要書類の到着後10日～2週間ほどでご指定口座に祝賀金をお振込みします。  
※振込手数料はお客様負担です。

#### **6. 通信メディア受講における提出課題の答案提出方法**

簿記検定講座（通信メディア）の答案提出方法は、以下の2つの方法のどちらかになります。

- ① 返信用封筒を用いて郵送にてTACに返送していただく。
- ② スマホのカメラ機能を用いて答案用紙画像をTACに送信していただく。

簿記検定講座の演習教材には、カメラ画像送信に対応している教材と対応していない教材がございます。詳細につきましては、次ページをご参照ください。なお、カメラ画像送信の操作方法などにつきましては、TAC WEB SCHOOL内「講座からのお知らせ」欄にてご確認ください。

	【通信メディア】	郵 送 提 出	スマホ画像送信
簿 記 3 級	ミニテスト	( 自己採点のため提出不要 )	( 自己採点のため提出不要 )
	実力テスト	●	○ ※1
	プレ答練	( 自己採点のため提出不要 )	( 自己採点のため提出不要 )
	解法力完成答練	●	○ ※2

※1 「3級実力テスト」については、「2027年2月目標」以降のコースもしくは「2026年11月入学(3級)」「2026年6月入学(3・2級ステップ)」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

※2 「3級解法力完成答練」については、「2026年6月目標」以降のコースもしくは「2026年4月入学」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

	【通信メディア】	郵 送 提 出	スマホ画像送信
簿 記 2 級	ミニテスト	( 自己採点のため提出不要 )	( 自己採点のため提出不要 )
	実力テスト	●	○ ※1
	プレ答練	●	○ ※2
	解法力完成答練	●	○ ※2

※1 「2級実力テスト」については、「2027年2月目標」以降のコースもしくは「2026年8月入学(2級)」「2026年6月入学(3・2級ステップ)」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

※2 「2級プレ答練」および「2級解法力完成答練」については、「2026年6月目標」以降のコースもしくは「2026年5月入学」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

	【通信メディア】	郵 送 提 出	スマホ画像送信
簿 記 1 級	ミニテスト	( 自己採点のため提出不要 )	( 自己採点のため提出不要 )
	基礎答練	●	○ ※
	レベルアップ答練	●	●
	上級演習	●	●
	的中答練	●	●
	全国公開模試	●	●

※ 「1級基礎答練」については、「2027年6月目標」以降のコースからスマホ画像送信対応になります。

スマホ操作の  
説明動画はコチラ！



## 7. デジタル添削およびWeb閲覧サービス

簿記検定講座における以下の演習教材では、教室講座は教室内にてご提出いただいた答案につきまして、もしくは、通学メディアは郵送もしくはスマホ画像送信にてご提出いただいた答案につきまして、デジタル採点を実施のうえ、採点答案はTAC WEB SCHOOL上に掲載させていただきます。

なお、ビデオブース講座および資料通信講座については、デジタル採点対象外(自己採点)となります。

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 3級	ミニテスト		——	(自己採点)	(自己採点)
	実力テスト			●	●
	プレ答練		——	(自己採点)	(自己採点)
	解法力完成答練		——	●	●

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 2級	ミニテスト		——	(自己採点)	(自己採点)
	実力テスト			●	●
	プレ答練		——	●	●
	解法力完成答練		——	●	●

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 1級	ミニテスト	★	——	(自己採点)	(自己採点)
	基礎答練	★	——	●	●
	レベルアップ答練			●	●
	上級演習	——	——	●	●
	的中答練	●	——	●	●
	全国公開模試	● (会場受験・自宅受験いずれも)			

★ 教室講座実施の「1級ミニテスト」および「1級基礎答練」については、担当講師が回収し採点答案を返却するとともに、採点答案はTAC WEB SCHOOL上にも掲載させていただきます。

# デジタル添削およびWeb閲覧のご案内

## 1. 答案の閲覧について

一部の級・講座における演習・答練につきまして、ご提出いただきました答案は、Web上に掲載し、各自閲覧となります。教室や返却ボックスでの返却、郵送での返却はございません。

## 2. 答案の提出について

答案用紙の会員番号・氏名・生月日欄を必ずご記入ください。記載に不備がございますと答案データをWeb上に掲載できない場合がございますので、ご注意ください。また、通信メディアにおいて直前期教材の答案については、「データファイル」もあわせてご提出ください。

## 3. マイページの登録について

添削後の答案を閲覧いただく際には、WEB SCHOOLのマイページ登録が必要となります。マイページ登録の仕方については、別冊「TAC利用ガイド」をご覧ください。

## 4. 添削答案のWeb掲載について

ご提出いただきました答案は、答案提出後もしくは答案のTAC到着後、2～3週間で、ご登録いただきましたマイページに掲載されます。添削答案の掲載期間は、会員証有効期限の翌月末日まで閲覧できます。

## 5. 添削答案の掲載場所について

添削された答案は、WEB SCHOOLのマイページの「学習記録」→「成績表」欄に掲載されます。こちらのボタンよりお進みください。

The screenshot shows the TAC WEB SCHOOL student portal interface. At the top, there is a navigation bar with the logo and user icons. Below it, a main menu includes '学習サポート', '学習記録', 'ビデオブース予約・教室検索', '初めての方', '教材発送状況', and 'ヘルプ'. The '学習記録' menu is highlighted with a red box, and a sub-menu is visible with '出席状況' and '成績表' options. A black arrow points from the text above to the '成績表' option. Below the menu, there is a section for '受講中の講座' (Enrolled Course) showing '2026年目標 日商簿記講座 2026年6月目標1級' and a '学習をはじめる' button. At the bottom, there is a '学習進捗' (Learning Progress) section with a progress bar showing '144 / 350' and a '2026年2月統一試験まで' (Until the February 2026 Unified Exam) section with a 'もっと読む' button.

## 6. 通信生で教育訓練給付金を利用されている場合

1級通信生の方が、スクーリングにて答練をご受講される場合には、お手数ですが、答案はお持ち帰りいただき、郵送にてご提出ください。教室にご提出いただいた場合、提出率に加算されませんのでご注意ください（受講ガイドP.53 「4スクーリング」をご覧ください）。

# 教室講座編

# 1 欠席した場合のフォロー

講義に欠席した場合は以下の欠席者フォロー制度をフルに活用してください。

欠席した場合のフォロー方法	サービスの名称	サービスの内容
1. 欠席した講義を他のクラスに出席して受講する	クラス振替出席フォロー ※テスト類の採点・添削も受けられます。	締め切りクラスを除き会員証とテキスト等をお持ちいただければ、ご希望の校舎・クラスで講義が受けられます。 (お手続きは不要) ※教室講座の他のクラスが開講している場合にご利用いただけます
2. 欠席した講義をビデオブースで受講する	ビデオブース振替フォロー (有料) ※テスト類の採点・添削も受けられます(答案は校舎窓口に提出)。	各校舎のビデオルーム内で講義を視聴できます。[要予約、有料¥500(税込)]詳細は各校舎にお問い合わせください。
3. ご自身のパソコンやスマートフォン・タブレット端末でWeb通信を受講する	Webフォロー (標準装備) ※テスト類の採点・添削も受けられます(答案は校舎窓口に提出)。	Web通信講座の講義をご自身の端末で視聴できます。

## 1. 他のクラスに出席する…「クラス振替出席フォロー」

登録したクラスの講義を欠席した場合、同一コース、同一内容の講義に限り、別クラスの講義に出席できます。

※テスト類の採点・添削も受けられます。

ただし一部は、Web添削・TAC WEB SCHOOL での閲覧となります。

※クラス振替出席フォローは、受講地区を問わず可能ですが、登録人数の多いクラスによっては、振替出席をご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

### 【クラス振替出席フォローご利用例】

会員証に記載の登録クラスは「新宿校平日夜クラス」で、ふだんは新宿校で受講しているが、大阪へ出張のため新宿校で出席できない場合

→クラス振替出席フォローを利用し、会員証ご持参のうえ「梅田校クラス」にご出席いただけます

## 2. 欠席した講義をビデオブースで受講する…「ビデオブース振替フォロー」

欠席された講義を各校ビデオルーム内の個別ブースにて、視聴することができます。予約した校舎のビデオルームでご視聴ください。受講・予約の方法は、TAC WEB WCHOOL をご参照ください。

◇有料 [1回につき 500 円 (税込)]、完全予約制 (当日予約は不可) となります。

◇視聴開始日は、各日程表をご覧ください。

※テスト類の採点・添削も受けられますが、通常的答案返却よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

## 3. Web フォロー

欠席された講義を、インターネットを利用することによって、フォローすることができます。

◇対象コース：全コース標準装備 (通学メディア・DVD 通信講座)

◇Web フォローをご利用になる場合は、お申込みの前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。  
<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Web フォローの場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

※テスト類の採点・添削も受けられますが、通常的答案返却よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

## 2 もう一度講義を受講したい場合

### ◆重複受講制度

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. **対象コース** : 1級合格本科生、1級上級合格本科生、1級講義パック
2. **対象講義** : 講義（直前期を除く）
3. **回数** : 各講義1回
4. **利用方法** : 2つの方法でご利用できます。
  - (1) 他のクラスに出席して重複受講する（クラス重複出席フォロー）。
  - (2) ビデオブース重複フォロー（有料・要予約）で重複受講する。  
ビデオブース受講のルールや予約方法などは、TAC WEB WCHOOLをご参照ください。

## 3 答案の採点および成績発表について

### 1. 教室講座で受講した場合

- 1級上級演習は自己採点となります。1級的中答練の採点については下記をご確認ください。
- ・教室講座内で実施の「1級的中答練」は、原則として、答案用紙での返却ではなく、TAC WEB SCHOOLにWeb掲載です。
  - ・教室講座内で実施の「1級ミニテスト」および「1級基礎答練」については、担当講師が回収し採点答案を返却するとともに、採点答案はTAC WEB SCHOOL上に掲載させていただきます。
  - ・原則として講義実施日の約10日後に掲載いたします。なお、答練最終回については自己採点となります。
  - ・詳細は、P.34「デジタル添削およびWeb閲覧のご案内」をご覧ください。

### 2. ビデオブースで受講(ビデオブース振替フォロー)した場合

1級ミニテスト・1級基礎答練・1級上級演習の採点につきましては、解答・解説に配点箇所を示しておりますので、自己採点となります。

直前期の1級的中答練に関しましては、

- ・予め問題を解いてから、ビデオブースで解説講義をご視聴いただく
- ・ビデオブース予約時間内で、ビデオブースで問題を解いて解説講義をご視聴いただくいずれかでご受講ください。

- ・校舎窓口にご提出された1級的中答練は、原則として、答案用紙での返却ではなく、TAC WEB SCHOOLにWeb掲載です。
- ・原則として講義実施日の約10日後に掲載いたします。なお、答練最終回については自己採点となります。
- ・詳細は、P.34「デジタル添削およびWeb閲覧のご案内」をご覧ください。



# ビデオブース講座編

# 1 答練等の受講、答案の採点および成績発表について

## 1. 答練等の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

- (1) ビデオブースで解答
- (2) 自習室にて解答
- (3) 自宅に問題を持ち帰って解答

## 2. 答案の提出・返却について

解答・解説に配点箇所を示しておりますので、いずれの答練・演習につきましても自己採点となります。

講義部分は、ミニテスト（3級、2級、1級）、基礎答練（1級）を講義録に添付しております。問題と解答解説が掲載されておりますので、復習用としてご利用ください。

直前期の解法力完成答練(的中答練)等に関しましては、

- ・ 予め問題を解いてから、ビデオブースで解説講義をご視聴いただく
- ・ ビデオブース予約時間内で、ビデオブースで問題を解いて解説講義をご視聴いただく  
いずれかでご受講ください。

詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**3**演習・答練について」をご確認ください。

※解法力完成答練は3級・2級の名称、1級は的中答練が該当します。

## 2 答練・演習の教室振替について

1 級直前期のカリキュラムに限り、ビデオブースに代えて教室講座に出席していただくことができます。是非、教室講座の受講生と一緒に答練・演習を受けてみてください。

教室講座開講校舎のみで、お手続は不要です。  
会員証を持参の上、教室講義に出席してください。日程は、HP掲載の教室講座日程表で確認の上、ご希望の校舎・クラスで受講してください。

※定員に達したクラスについては、受講をお断りするケースがあります。詳細は各校までお問合せください。

※採点後の答案は、教室講座編「**3**答案の採点及び成績発表について」に準じて返却いたします。

## 3 もう一度講義を受講したい場合

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

対象コース・対象講義等は下記をご確認ください。また、利用方法等が校舎によって異なる場合がございます。詳細は各校受付にお問い合わせください。

- 1. 対象コース**：3・2級ステップ合格本科生（L）、  
3級合格本科生、2級合格本科生、  
1級合格本科生、1級上級合格本科生、  
1級・2級講義パック、3級商業簿記講義
- 2. 対象講義**：講義（直前期を除く）
- 3. 回数**：各講義1回
- 4. 利用方法**：ビデオルームでのご利用となります。  
※一回あたり500円（税込）の利用料金がかかります。  
※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。



# 通信メディア編

# 1 教材発送について

## 1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC発送日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。

TAC WEB SCHOOLをご確認ください。

## 2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

## 3. 教材発送に関するお問い合わせ

教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より1ヶ月以内に送付明細表に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

## 2

# 答案添削の流れ

### 1. 添削システム

【TAC】  
問題 発送

発送日程にしたがって問題が発送されます。

【受講生の皆さん】  
答案作成・提出

計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。  
答案の提出は、郵送もしくはスマホ画像送信のいずれかです。  
詳細は、当ガイドのp.31以降をご参照ください。  
※最終提出締切日（通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」参照）を過ぎますと、採点を行いませんので厳守してください。

【TAC】  
採点済答案Web掲載

提出された答案は採点して、TAC WEB SCHOOLマイページに掲載します。

- 答案掲載までの目安は、TAC到着後、約2～3週間です。
  - 答案はTAC WEB SCHOOLマイページの「学習記録」→「成績表」より確認できます。
- ※答案用紙の郵送での返却はございません。

【受講生の皆さん】  
フォロー・アップ

添削済み答案と解答・解説等で、フォロー・アップをしっかりと行ってください。

●提出課題の解答送付

送付日程に従って、問題と一緒に解答を送付します。

●提出課題の範囲

< 3級・2級実力テスト（添削問題） >

コース 回数		3級	2級商業簿記	2級工業簿記
講義期	1	全 範 囲	全 範 囲	全 範 囲

< 1級基礎答練 >

コース 回数		1級 商業簿記・会計学	1級 工業簿記・原価計算
講義期	1	テキストⅠ	テキストⅠ
	2	テキストⅡ	テキストⅡ
	3	テキストⅢ（前半）	テキストⅢ（前半）
	4	テキストⅢ（後半）	テキストⅢ（後半）

※詳細は学習進度表でご確認ください。

< 3級・2級プレ答練 >

コース 回数		3級	2級
直前期	1	全 範 囲	全 範 囲

< 3級・2級 解法力完成答練／1級 的中答練 >

コース 回数		3級	2級	1級 商業簿記・会計学	1級 工業簿記・原価計算
直前期	1	全 範 囲	全 範 囲	全 範 囲	全 範 囲
	2				
	3				
	4	—	—	—	—
	5	—	—	—	—

※詳細は「直前期演習出題予告表」でご案内致します。

## 2. 通信メディア受講における提出課題の答案提出方法

簿記検定講座(通信メディア)の答案提出方法は、以下の2つの方法のどちらかになります。

- ① 返信用封筒を用いて郵送にてTACに返送していただく。
- ② スマホのカメラ機能を用いて答案用紙画像をTACに送信していただく。

簿記検定講座の演習教材には、カメラ画像送信に対応している教材と対応していない教材がございます。詳細につきましては、次ページをご参照ください。なお、カメラ画像送信の操作方法などにつきましては、TAC WEB SCHOOL内「講座からのお知らせ」欄にてご確認ください。

	【通信メディア】	郵 送 提 出	スマホ画像送信
簿 記 3 級	ミニテスト	(自己採点のため提出不要)	(自己採点のため提出不要)
	実力テスト	●	○※1
	プレ答練	(自己採点のため提出不要)	(自己採点のため提出不要)
	解法力完成答練	●	○※2

※1 「3級実力テスト」については、「2027年2月目標」以降のコースもしくは「2026年11月入学(3級)」「2026年6月入学(3・2級ステップ)」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

※2 「3級解法力完成答練」については、「2026年6月目標」以降のコースもしくは「2026年4月入学」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

	【通信メディア】	郵 送 提 出	スマホ画像送信
簿 記 2 級	ミニテスト	(自己採点のため提出不要)	(自己採点のため提出不要)
	実力テスト	●	○※1
	プレ答練	●	○※2
	解法力完成答練	●	○※2

※1 「2級実力テスト」については、「2027年2月目標」以降のコースもしくは「2026年8月入学(2級)」「2026年6月入学(3・2級ステップ)」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

※2 「2級プレ答練」および「2級解法力完成答練」については、「2026年6月目標」以降のコースもしくは「2026年5月入学」以降のコースから、スマホ画像送信対応になります。

簿記 1級	【通信メディア】	郵送提出	スマホ画像送信
		ミニテスト	(自己採点のため提出不要)
	基礎答練	●	○*
	レベルアップ答練	●	●
	上級演習	●	●
	的中答練	●	●
	全国公開模試	●	●

※「1級基礎答練」については、「2027年6月目標」以降のコースからスマホ画像送信対応になります。

### 3. デジタル添削およびWeb閲覧サービス

簿記検定講座における以下の演習教材では、教室講座は教室にてご提出いただいた答案につきまして、もしくは、通学メディアは郵送もしくはスマホ画像送信にてご提出いただいた答案につきまして、デジタル採点を実施のうえ、採点答案はTAC WEB SCHOOL上に掲載させていただきます。

なお、ビデオブース講座および資料通信講座については、デジタル採点対象外(自己採点)となります。

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 3級	ミニテスト		——	(自己採点)	(自己採点)
	実力テスト			●	●
	プレ答練		——	(自己採点)	(自己採点)
	解法力完成答練		——	●	●

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 2級	ミニテスト		——	(自己採点)	(自己採点)
	実力テスト			●	●
	プレ答練		——	●	●
	解法力完成答練		——	●	●

		通学メディア		通信メディア	
		教室講座	ビデオブース講座	Web通信講座	DVD通信講座
簿記 1級	ミニテスト	★	——	(自己採点)	(自己採点)
	基礎答練	★	——	●	●
	レベルアップ答練			●	●
	上級演習	——	——	●	●
	的中答練	●	——	●	●
全国公開模試		● (会場受験・自宅受験いずれも)			

★ 教室講座実施の「1級ミニテスト」および「1級基礎答練」については、担当講師が回収し採点答案を返却するとともに、採点答案はTAC WEB SCHOOL上にも掲載させていただきます。

#### 4. 答案作成上の注意

##### (1) 論文答案

簿記検定講座では論文答案の実施はございません。

##### (2) マークシート答案

簿記検定講座ではマークシート答案の実施はございません。

#### 5. 答案最終提出締切日

各種答練・演習には最終提出締切日がございます。通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」をご確認ください。

※教育訓練給付制度をご利用の方は、ご自身の修了日が提出の最終締切日となります。

#### 6. 答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

専用の封筒がお手元にない場合には、市販の封筒でも構いません。

下記送付先を明記してください。その際は表に「簿記検定 答案在中」と朱書してください。

〒 101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18

TAC通信教育部 行

#### 7. 答案スマホ画像送信の方法

詳細につきまして、TAC WEB SCHOOL内「講座からのお知らせ」欄にてご確認ください。

#### 8. 答案についてのお問い合わせ

答練・演習の答案返却に関するお問い合わせは、TAC通信教育部・答案管理担当までお願いいたします。

※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

# 3 学習サポート機能

TAC WEB SCHOOL では様々な学習サポート機能で、受講生と講師による双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」、学習のポイントや応援メッセージが掲載される「講師からのメッセージ」など、フォロー体制は万全です。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]



[スマートフォン画面]



## ◆よくある質問

疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

## ◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。  
※回答もマイページ上でご確認いただけます。

## ◆講師からのメッセージ

講師から学習に関するポイントや本試験時の心構えなど、様々なメッセージが届けられます。  
講師からの熱いアドバイスやメッセージに学習のモチベーションが上がること間違いなしです。

## 1. ご利用方法

学習サポート機能はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[<http://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

## 2. 注意事項

TACでは学習サポート機能の操作方法につきましてサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

## 4 スクーリング

対象となる1級通信メディアの受講生が、TAC各校舎で開講されている教室講座に出席できる制度です。同じ目的を持ったライバルと顔を合わせる良い機会ですので、ぜひご利用ください。

なお、ご利用の際は必ず会員証と教材をご持参の上、直接ご希望の教室にお入りください。

日商簿記検定講座では1級本科生コースの通信受講生（Web・DVD）を対象とします。

**1級直前期の直前講義演習・的中答練**において、教室講座の受講が可能となります。

**(単科・パックでお申込みの方はご利用できません)**

会員証をご持参の上、直接ご希望の開講校舎へお越しください。使用教材は、教室でもお受け取りいただけます。

※TAC提携校に来校される場合の日程は、直接提携校へお問い合わせください。また、定員に達したクラスについては出席をお断りする場合があります。事前に出席希望の各校舎へ事前にお問い合わせください。

コース	スクーリング回数
1級合格本科生	12回
1級上級合格本科生	12回

※1級「資料通信講座」はスクーリングご利用対象外です

※1級合格本科生・1級上級合格本科生の全国公開模試は回数制限には入りません  
(会場受験の場合は事前に受験登録手続きが必要です)。

◆スクーリングには、利用回数に上限があります。また、お申込みいただいている講座・コースにより利用回数の上限が異なりますのでご注意ください。

◆スクーリングをご利用の際は、各校舎の教室日程をご確認いただき、必ず会員証と教材をご持参の上、受講してください。

教室講座の日程表は、TACホームページに掲載しています。

予約は不要ですが、締切クラスについては出席をお断りすることがあります。また、日程はやむを得ず変更される場合もございます。事前にTAC各校舎へお問い合わせください。

- ◆ 1級的中答練をスクーリングする場合、答案は教室で提出せず、通常通り専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。教育訓練給付制度を利用して受講中の方が教室で提出された場合、提出率に加算されませんのでご注意ください。

# オリエンテーション編

# 1 学習に先立って

## 1. 試験の程度・時間・合格ライン

### (1) 日商簿記検定試験

(実施方法の詳細につきましては、当受講ガイド表紙裏面をご参照ください。)

級 別	科 目	制限時間	合格レベル	実施方法	
				統一試験	ネット試験
簿記 初級	商業簿記	40分	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが日常業務をこなすための基礎知識。簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に活用することができる。	—	● (随時実施)
原価 計算 初級	原価計算	40分	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが事業の収益性を把握するための基礎知識。原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に活用することができる。	—	● (随時実施)
3級	商業簿記	60分	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが身に付けておくべき「必須の基本知識」として、多くの企業から評価される資格。基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められるレベル。	● (年3回実施)	● (随時実施)
2級	商業簿記 工業簿記	90分	経営管理に役立つ知識として、企業から最も求められる資格の一つ。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うために求められるレベル。	● (年3回実施)	● (随時実施)
1級	商業簿記 会計学 工業簿記 原価計算	商・会 1時間30分  工・原 1時間30分	極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うために求められるレベル。公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。	● (年2回実施)	—

[合格ライン]

いずれの級も、100点満点のうち70点以上得点すれば合格となります。

ただし、1級については各科目25点満点の内、1科目の得点が10点未満である場合には、仮に合計が70点以上であっても不合格となります。

【1級の合否判定の例】

	商業簿記	会計学	工業簿記	原価計算	合計	
Aさん	17	20	15	21	73	合格
Bさん	25	25	25	9	84	不合格

(2)全経簿記検定試験

級別	科目	制限時間	試験内容※	実施方法	
				ペーパー	ネット
基礎	簿記会計	1時間30分	簿記の基礎的な知識を有し、特にサービス業等における基本的な記帳処理ができる。	● (年4回実施)	—
3級	商業簿記	1時間30分	小規模企業における経営者又は経理担当者として、最低限必要な簿記に関する知識を有し、かつ簡易な実務処理ができる。	● (年4回実施)	●
2級	商業簿記 工業簿記	1時間30分 1時間30分	個人企業及び法人企業の経理担当者又は経理事務員として必要な商業簿記に関する知識を有し、かつ実務処理ができる。	● (年4回実施)	●
1級	商業簿記 財務会計 原価計算 管理会計	1時間30分 1時間30分	商企業及び工企業における経理責任者として必要な商業簿記及び工業簿記に関する知識を有し、かつ高度な実務処理ができる。	● (年4回実施)	—
上級	商業簿記 財務会計 原価計算 管理会計	1時間30分 1時間30分	商業簿記、会計学、工業簿記及び原価計算について高度な知識を有し、併せて複雑な実務処理能力を有する。	● (年2回実施)	—

※公益社団法人全国経理教育協会ホームページより

### [合格ライン]

各級とも1科目100点満点のうち、70点以上得点すれば合格となります。

ただし、全経上級については各科目100点満点（計400点満点）の内、70%である280点以上得点すれば合格となりますが、日商1級と同様に1科目の得点が40%である40点未満の科目がある場合は、280点以上であっても不合格となります。

### (3) 同じ級（例えば日商1級と全経1級）でも難易度は違う

先の試験概要で日商および全経において実施される試験級を示しましたが、必ずしも同じ名称の級だからといって試験レベルが同一ということではありません。基本的には下記の対応による難易度の認識が一般的となっておりますので、参考にしてください。

「日商」			「全経」	
1 級	⇒		上 級	
1 級 商 会	⇒		1 級 商 会	
2 級 工 簿	⇒		1 級 原 工	
2 級 商 簿	⇒		2 級 商 簿	
3 級	⇒		3 級	
初 級	⇒		基 礎	

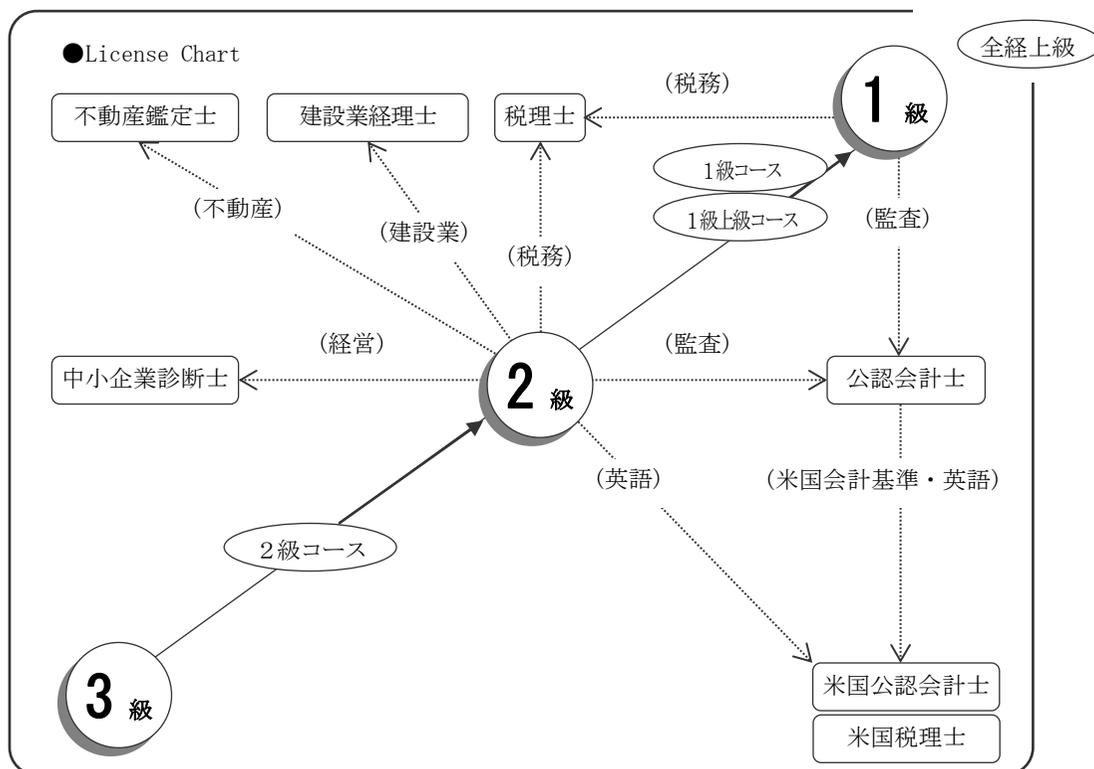
※網掛け部分については、TACにおいて検定試験合格のための講座が設定されています。

## 2. 検定試験“合格”は通過点

試験概要とは別に簡単に簿記の学習効果にも触れておきます。例えば、新聞などでは企業の利益について、「売上総利益」「営業利益」「経常利益」など、当たり前のように出てきますが、これらは企業の業績を色々な尺度で示したものであり、簿記と密接な関係にあります。また、簿記はどの分野でも、どんな業種やセクションでも必要不可欠な知識であるため、就職や転職の場合にはやはり簿記の基礎知識と言われる2級までは最低限学習してもらいたいと思います。工業簿記を含んだ2級までを当初の学習目標として設定して、簿記の原理をしっかりと身につけてください。

2016年度から2018年度にかけて、2級の試験範囲が段階的に変更され、実際の企業活動や会計実務に即したより実践的な2級の試験に変更を遂げています。その意味でも2級取得は今後、よりいっそう重要になると考えられます。

多くの企業では、コンピューターを導入し業務を行っています。コンピューターは、計算・記録・伝達などスピード・正確さ・安定性において他になうものはありません。しかし、その総合的な判断力はやはり、日商1級もしくは全経上級の難関を突破して、さらに実務でのキャリアを積むことや、さらに公認会計士・税理士などの学習を通じて初めて身につくものです。



## 2 学習の進め方

### 1. 講義受講時の準備物

毎回の講義では、テキスト・筆記用具・電卓をご準備の上ご受講ください。

### 2. 「合格のための学習」を始める心構え

#### (1) 講義を休まずに受講すること

すべての講義内容を消化いただければ、簿記検定試験の各級の出題範囲を押さえることができるようにカリキュラムを組んでいます。

そのため、第一に仕事や生活の環境づくりを心掛けることと、第二に学習した範囲について次回の講義までに十分消化（復習）しておくことが重要です。

とくに、復習する際には、各コースに付属でお渡ししている問題集（「スッキリわかる（問題編）」「簿記の問題集」「合格トレーニング」）内の対応する問題を必ず解いておきましょう。

## (2) ミニテスト・基礎答練を存分に活用する（各級合格本科生コース）

皆さんの目的は、簿記検定試験に合格することです。簿記検定試験は、簿記会計の知識や記帳処理能力が問われる試験です。インプットした知識を、時間内でいかに的確にアウトプットできるかが合否の分かれ目となってきます。

**3級・2級**本科生コースでは、アウトプット・トレーニングを目的として、初回を除く各回講義開始時にミニテストを実施いたします。都合で講義中に解けなかった場合でも、復習の際には必ず解くようにしてください。そして間違った場合、どうして間違ったのかを十分に検討・分析し、確実に自分のものにしてください。ビデオブース講座・Web通信講座・DVD通信講座では、講義録にミニテストを添付しますのでご利用ください。

また、講義で学習したテーマについて、合格トレーニングに掲載されている該当する問題にも早めに取り組みましょう。

**1級**本科生コースでは、初回を除く各回講義開始時にミニテストを実施いたします。都合で講義中に解けなかった場合でも、復習の際には必ず解くようにしてください。そして間違った場合、どうして間違ったのかを十分に検討・分析し、確実に自分のものにしてください。ビデオブース講座・Web通信講座・DVD通信講座では、講義録にミニテストを添付しますのでご利用ください。

また、講義の進行に合わせて定期的に基礎答練も実施して、学習の定着度を確認します(実施回については「学習進捗表」でご確認ください)。解説講義もありますので、受講・復習することで基礎固めを確実にしてください。

既に終了しているテーマに対応するトレーニングは、次回講義までに取り組んでおくとう効果的です。

**1級上級合格本科生**では、テキスト掲載問題・トレーニング・上級演習に早めに取り組んで、論点ごとの実践的な解き方をマスターして、難関突破のための実力を身につけましょう。

## (3) 疑問点はしっかり解消しましょう

受講メディアごとに、各種質問サービスをご利用いただけます。詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**6**各種フォロー・サービス対応表」をご覧ください。疑問点が見つかった時にはそのままにせず、できるだけ早く解決しましょう。

# 3 試験への取り組み方

## 1. 3級・2級について

これから簿記の学習を始める受講生の皆さんに、試験内容の大枠を示しますので、参考にご覧ください。

### (1) 合格基準は7割以上

3級は全3問で構成され、2級は全5問で構成されます。配点としては次のとおりです。70点以上で合格になります。

	[第1問]	[第2問]	[第3問]	[第4問]	[第5問]	合計
3級	45	20	35	—	—	100
2級	20	20	20	28	12	100

### (2) 基本の理解が大切

3級・2級では基本事項を幅広く理解しているかを問う問題が出題されます。知識を定着させずに問題演習を数多くこなすだけでは、正しい実力養成とはいいきれません。むやみに問題演習を重ねるだけでは、苦手意識を持ってしまうだけになるおそれもあることから、**論点の内容をきちんと理解し、それにもとづき問題演習を積み上げる**、という学習スタイルで臨みましょう。

また、本試験問題のレベルに慣れるうえでも、“本試験レベルの問題の実践”は欠かせません。自分が受ける検定が過去にどのように出題されていたかは、知っておいたほうが望ましいです。問題を繰り返し解くことで、理解もより深まってきます。

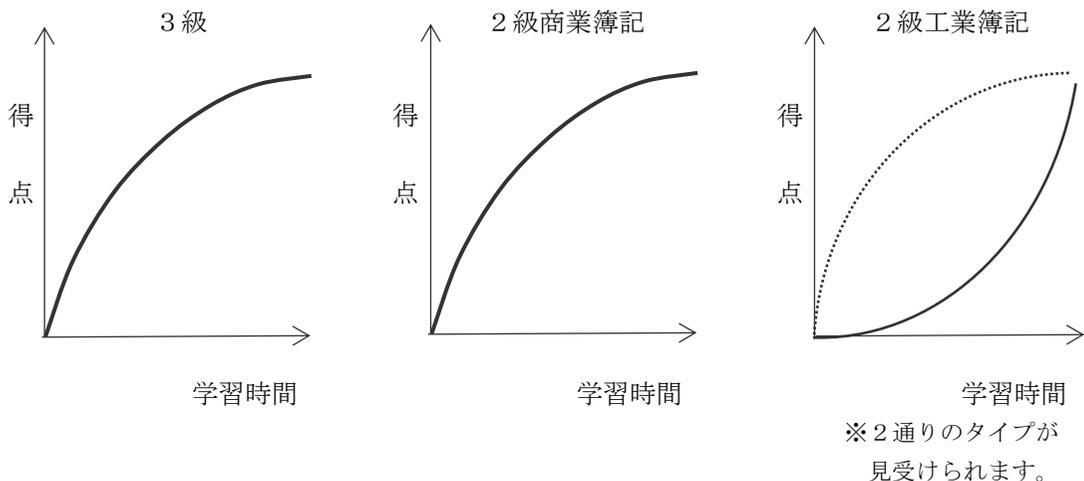
簿記学習の基本スタイルである「基礎知識の定着＋問題演習の積重ね」を、しっかり進めてください。

### (3) 2級は新たに工業簿記が加わる

3級においては「商業簿記」のみだった学習範囲に、2級に進むと「工業簿記」という科目が新たに加わってきます。理解が定着しさえすれば、「商業簿記」も「工業簿記」も同じ簿記というイメージの中でとらえることができるようになりますのですが、学習を始めた当初は、「商業簿記」との相違で取り組みにくい印象を受けるかもしれません。しかし、2級で学習する「工業簿記」はあくまで基礎的な内容であり、級が上がればそれだけ学習量が増えるのは必然ともいえますので、初心に立ち返って頑張ってください。

「商業簿記」に比べると「工業簿記」のほうが出題分量が少なめであることから、**2級工業簿記で失点をいかに少なく抑えることができるかがカギになります**。その意味でも、「工業簿記」での学習はより重要になっていくものと考えられます。

#### (4) 努力と成果の関係



#### (5) 3級・2級には「統一試験」と「ネット試験」があります。

3級および2級では、年3回実施の「統一試験」に加え、随時実施の「ネット試験」も施行されており、どちらの試験形式で受験いただいても、70点以上取ることができれば合格になります。

「ネット試験」「統一試験」の詳細につきましては、当受講ガイド表紙裏面をご参照ください。

統一試験は、6月第2日曜日、11月第3日曜日、翌年2月第4日曜日の年3回実施になります。

また、ネット試験は随時受験可能です。ただし、年度替わりの4月上旬および統一試験実施日前後は実施休止となります。詳細は、最寄りのCBTテストセンターにてご確認ください。

#### <ネット試験・統一試験の施行時期イメージ>



## 2. 1級について

### (1) 基本的な学習スタイルは3・2級と同じ

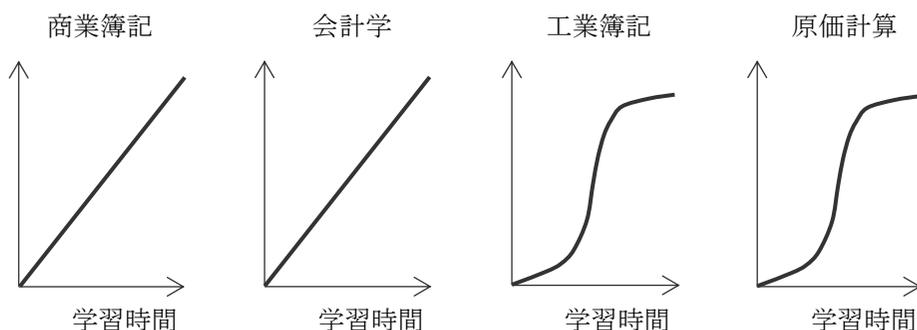
1級については、3・2級のように特に決まった出題パターンというものはありません。1級は、簿記検定試験において最高峰に位置づけられるもっともレベルの高い試験といえ、出題される学習範囲も多岐に亘ります。また、同じ論点を問う問題でもいろいろな角度からの出題がなされ、学習当初は2級とは随分と違った印象を受けることと思います。しかし、3・2級のところでも述べましたが、学習スタイルの「基礎知識の定着+問題演習の積重ね」は、たとえ1級であっても同様のことが言えます。なぜなら、各論点をどのような角度から問われても対応できるように基礎知識をしっかりつけ、次に本試験に慣れるといった意味合いや、傾向分析も含めて過去問題を解くことは合格を目指す上では必要不可欠なことだからです。

### (2) バランスの取れた学習を

1級は商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算と科目が4つに増え、学習範囲自体も2級のそれを大きく凌駕します。また、合計点が70点以上で合格という点は3級・2級と同じですが、それ以外に、各科目(配点25点ずつ)のうち1科目でも10点未満の科目があると、たとえ合計70点以上得点できていても不合格になってしまうボーダーラインも設けられていることから、とても厳しい試験となっています。したがって各科目をバランスよく学習することがより大切であり、苦手科目を作らないことも常に意識しながら学習を進めることが、合格のための必要条件となってきます。

各科目で10点を下回らないような基礎力を養いつつ、合計で70点に届くように総合力をあわせて鍛えるよう日頃から意識して学習を継続しましょう。プラス $\alpha$ として得意な科目、つまり満点に近い点を取れる科目を作ることができれば、より一層合格に近づくといえそうです。

### (3) 努力と成果の関係



## 4

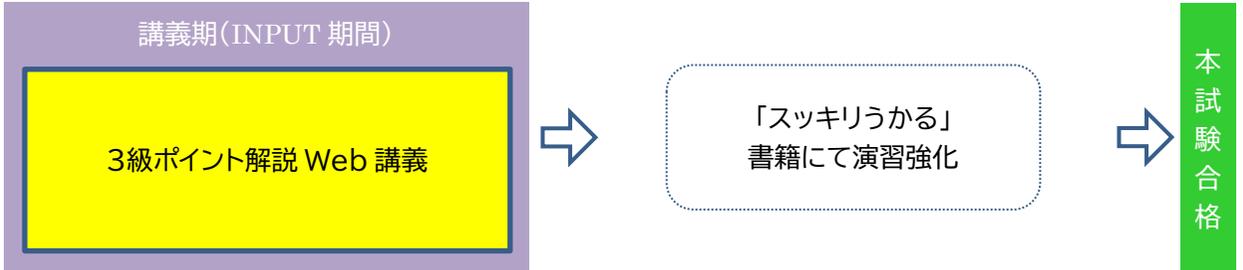
## 日商簿記検定 3 級の傾向と対策

## 1. 3 級本試験の出題傾向

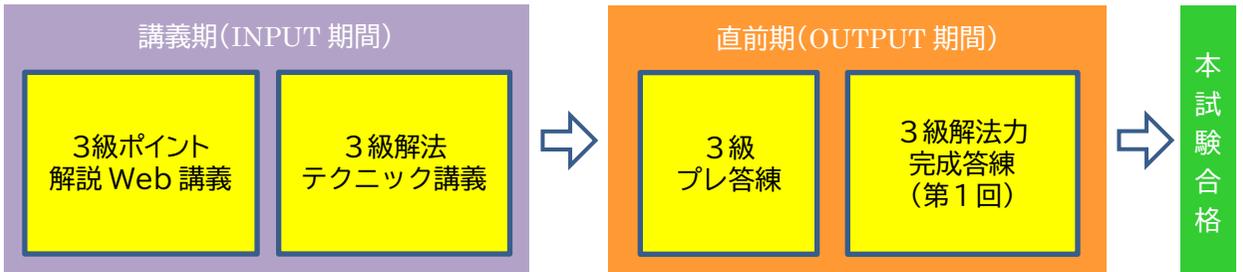
<p>第 1 問 (配点 45 点)</p>	<p><b>仕訳問題 (計 15 題)</b> 第 1 問では、指定された勘定科目を用いての<b>仕訳問題</b>が 15 問出題されます。「商品売買」「現金・預金」「手形」「債権・債務」「固定資産」「会社会計」「税金」「決算整理」「決算振替」など、3 級の学習内容のすべての範囲から出題されます。証ひょう(納品書、領収書など)から仕訳を行う問題も出題されます。</p>
<p>第 2 問 (配点 20 点)</p>	<p><b>個別問題 (計 2 題)</b> 第 2 問では、「経過勘定」「固定資産」「株式会社会社会計」「法人税等」などの<b>勘定記入問題</b>や商品有高帳や固定資産台帳などの<b>補助簿作成問題</b>が出題されます。また、<b>補助簿選択問題</b>や<b>適語記入問題</b>、<b>語群選択問題</b>などが出題されることもあります。</p>
<p>第 3 問 (配点 35 点)</p>	<p><b>決算総合問題</b> 第 3 問では、決算整理型の総合問題である<b>財務諸表(損益計算書・貸借対照表)</b>の作成、<b>決算整理後残高試算表</b>の作成もしくは<b>精算表</b>の作成が出題されます。解答要求が何であれ、解答を作成するうえでは決算整理仕訳の理解が不可欠です。「売上原価の計算」「貸倒引当金の設定」「固定資産の減価償却」などの代表的な論点は、着実にマスターしてください。</p>

## 2. 各コースのスケジュール進行および対策

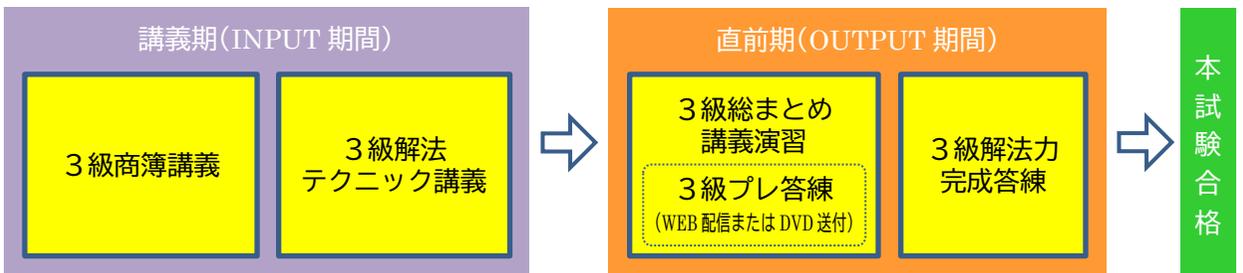
### 【3級スッキリパック】



### 【3級みんな欲し!パック】



### 【3級合格本科生】

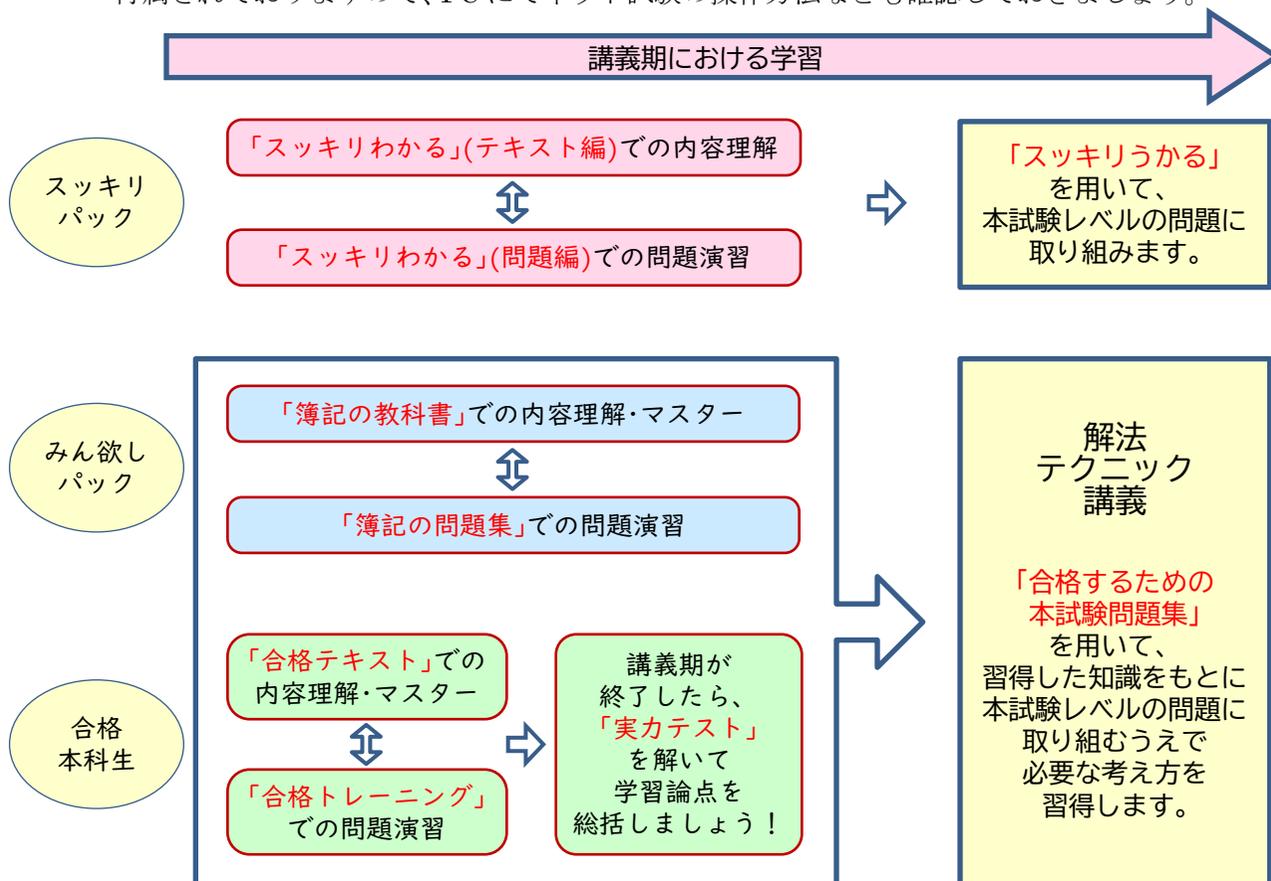


## (1) 講義期における学習

簿記学習は INPUT と OUTPUT の繰り返しで学習を進めていきます。具体的には、まずは各コースの講義をご受講いただき、学習内容を正しく理解します。そのうえで、問題集やトレーニングなどを用いて問題を数多く解くことにより、知識を定着させます。間違っただ箇所につきましては、必ずテキストに立ち返って内容を再確認するようにしてください。この INPUT と OUTPUT の繰り返しを継続することにより、各論点を着実にマスターしていきましょう。

「3級合格本科生」については、前回講義の確認として「ミニテスト」を実施いたしますので、学習のペースメーカーとしてご活用ください。基本的な内容の確認になりますので、満点をとれるようにしましょう。また、通信メディアにおいては、「実力テスト」を発送いたしますので、テキスト学習を一通り終了した段階で、必ず解いておきましょう。

「3級みんな欲しパック」「3級合格本科生」については、テキストの学習が終了いたしましたら、『3級解法テクニック講義』に進みましょう。「合格するための本試験問題集」を用いて講義を実施いたします。当講義は、本試験レベルの問題を通して解法力や得点力を養成する講義になります(通学メディアの方は WEB 配信)。また、使用教材「合格するための本試験問題集」にはネット試験対応の模擬試験プログラム(全 10 回分)が付属されておりますので、PC にてネット試験の操作方法なども確認しておきましょう。



## (2)直前期における学習

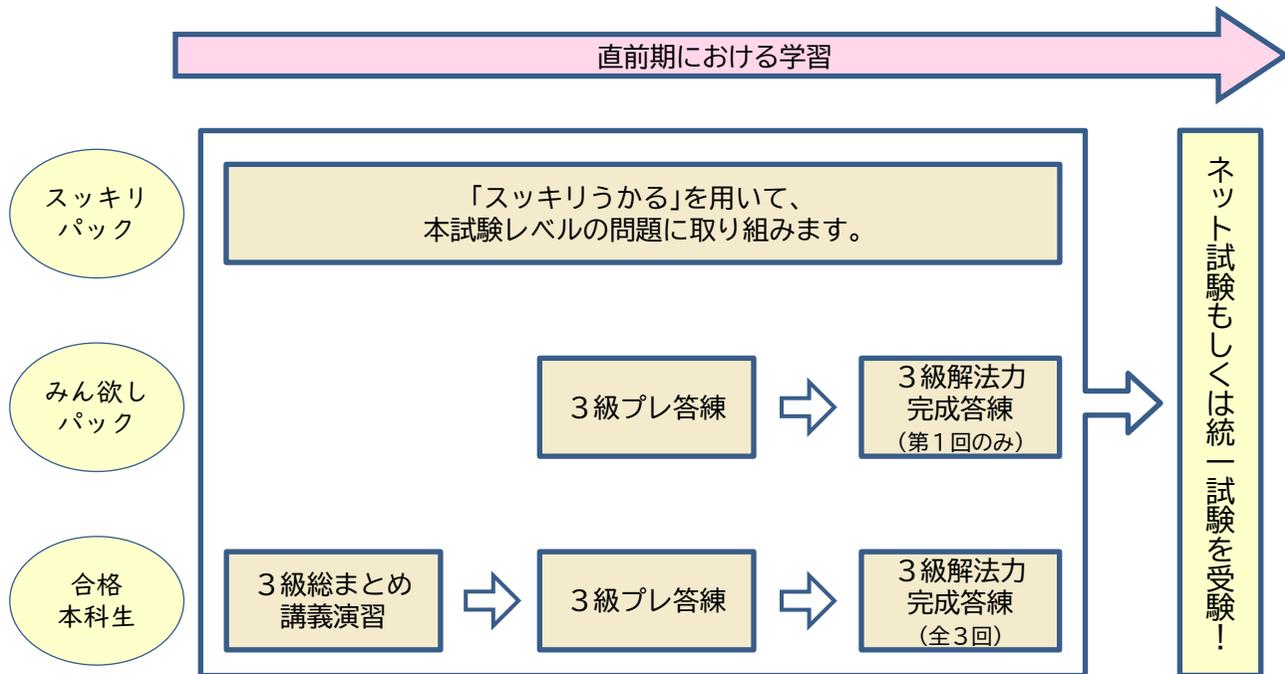
「3級合格本科生」は、3級総まとめ講義演習、3級プレ答練、3級解法力完成答練(全3回)を実施します(3級プレ答練は自宅学習用教材であり、提出課題ではございません)。

「3級みんな欲しパック」は、3級プレ答練、3級解法力完成答練(第1回のみ)を実施します。

3級総まとめ講義演習では、学習した内容を問題形式であらためて振り返るとともに、解法手順の確認なども行います。

3級プレ答練は、各問いごとの解答手順の確認のみならず、制限時間(60分)における解答戦略なども考慮します。ネット試験対応模擬試験プログラムも用意しておりますので、TAC WEB SCHOOLにてご確認ください。なお、通学メディアの場合は、解説講義動画はWEB配信になります。

3級解法力完成答練は、まさに本試験レベルを想定した予想問題になります。統一試験であれネット試験であれ、どのような問題が出題されたとしても対応できるよう、全3回で幅広い論点を最終確認いたします。最初に解いた段階で得点が思うように伸びなかったとしても、復習を積み重ねることで点数が上がっていきますので、あきらめることなく最後の総仕上げを行いましょ。



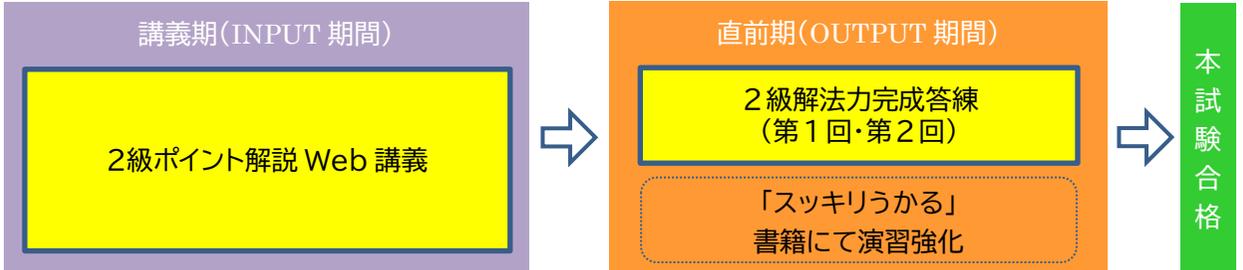
# 5 日商簿記検定 2 級の傾向と対策

## 1. 2 級本試験の出題傾向

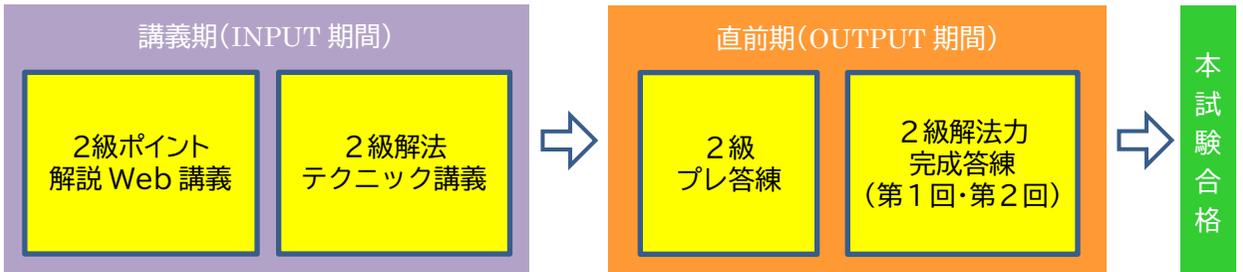
商 業 簿 記	第 1 問 (配点 20 点)	<p><b>仕訳問題 (計 5 題)</b></p> <p>第 1 問では、指定された勘定科目を用いての<b>仕訳問題</b>が 5 問出題されます。「商品売買」「有価証券」「固定資産」「純資産会計」など、2 級商業簿記の学習内容のすべての範囲から出題されます。</p>
	第 2 問 (配点 20 点)	<p><b>個別論点の計算問題など</b></p> <p>第 2 問では、<b>連結会計 (連結精算表、連結財務諸表)</b>がしばしば出題されています。また、「商品売買」「有価証券」「固定資産」「純資産会計」などの勘定記入問題、個別計算問題が出題される場合もあります。</p>
	第 3 問 (配点 20 点)	<p><b>決算総合問題</b></p> <p>第 3 問は、<b>損益計算書・貸借対照表の作成、精算表の作成</b>などの個別決算に関する総合問題が出題されています。3 級第 3 問対策と同じく、決算整理事項のマスターが必須になります。また、<b>本支店会計 (本支店合併財務諸表や本店側の損益勘定など)</b>が出題される場合もあります。</p>
工 業 簿 記	第 4 問(1) (配点 12 点)	<p><b>仕訳問題 (計 3 題)</b></p> <p>第 4 問(1)では、指定された勘定科目を用いての<b>仕訳問題</b>が 3 問出題されます。「材料費」「労務費」「経費」「製造間接費」「本社工場会計」などがしばしば出題されています。</p>
	第 4 問(2) (配点 16 点)	<p><b>計算問題</b></p> <p>第 4 問(2)では、<b>部門別計算、個別原価計算、総合原価計算、製造原価報告書作成</b>などの論点が出題されます。</p>
	第 5 問 (配点 12 点)	<p><b>計算問題</b></p> <p>第 5 問では、<b>標準原価計算、直接原価計算、CVP 分析</b>などが出題されています。</p>

## 2. 各コースのスケジュール進行および対策

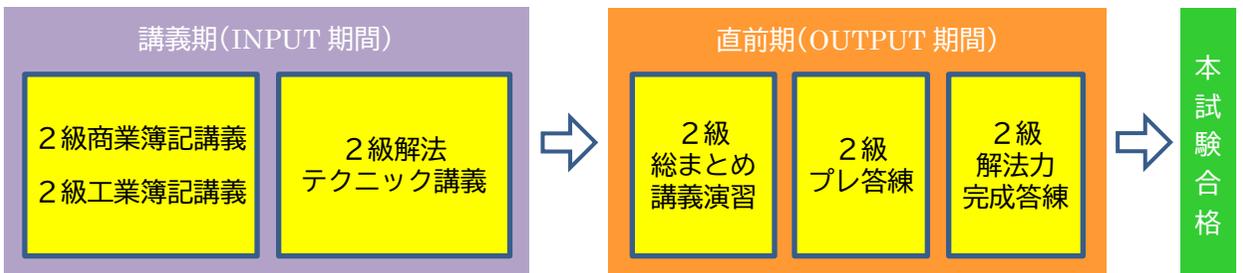
### 【2級スッキリパック】



### 【2級みんな欲し!パック】



### 【2級合格本科生】

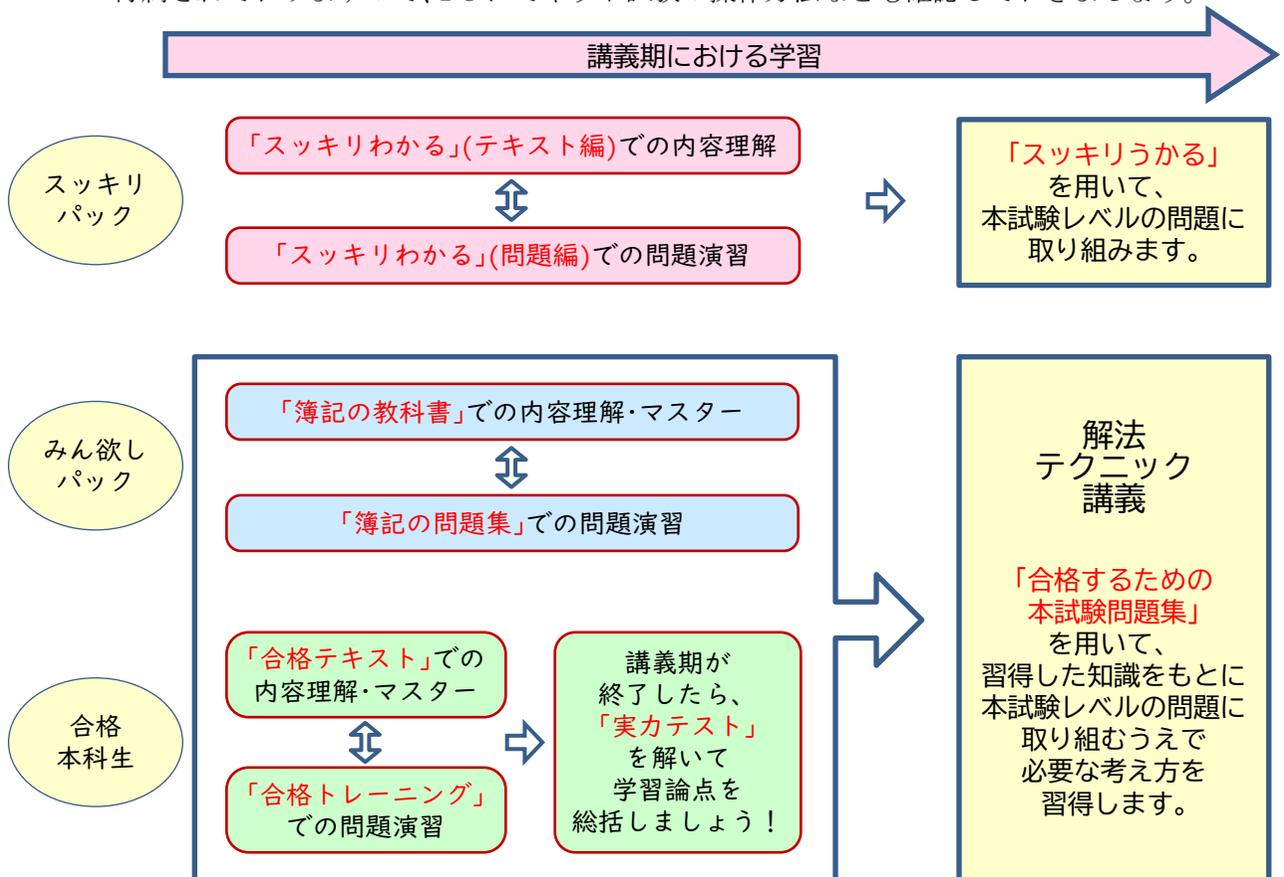


## (1) 講義期における学習

簿記学習は INPUT と OUTPUT の繰り返しで学習を進めていきます。具体的には、まずは各コースの講義をご受講いただき、学習内容を正しく理解します。そのうえで、問題集やトレーニングなどを用いて問題を数多く解くことにより、知識を定着させます。間違っただ箇所につきましては、必ずテキストに立ち返って内容を再確認するようにしてください。この INPUT と OUTPUT の繰り返しを継続することにより、各論点を着実にマスターしていきましょう。

「2級合格本科生」については、前回講義の確認として「ミニテスト」を実施いたしますので、学習のペースメーカーとしてご活用ください。基本的な内容の確認になりますので、満点をとれるようにしましょう。また、通信メディアにおいては、「実力テスト」を発送いたしますので、テキスト学習を一通り終了した段階で、必ず解いておきましょう。

「2級みんな欲しパック」「2級合格本科生」については、テキストの学習が終了いたしましたら、『2級解法テクニック講義』に進みましょう。「合格するための本試験問題集」を用いて講義を実施いたします。当講義は、本試験レベルの問題を通して解法力や得点力を養成する講義になります(通学メディアの方は WEB 配信)。また、使用教材「合格するための本試験問題集」にはネット試験対応の模擬試験プログラム(全 10 回分)が付属されておりますので、PC にてネット試験の操作方法なども確認しておきましょう。



## (2)直前期における学習

「2級合格本科生」は、2級総まとめ講義演習、2級プレ答練、2級解法力完成答練(全4回)を実施します。

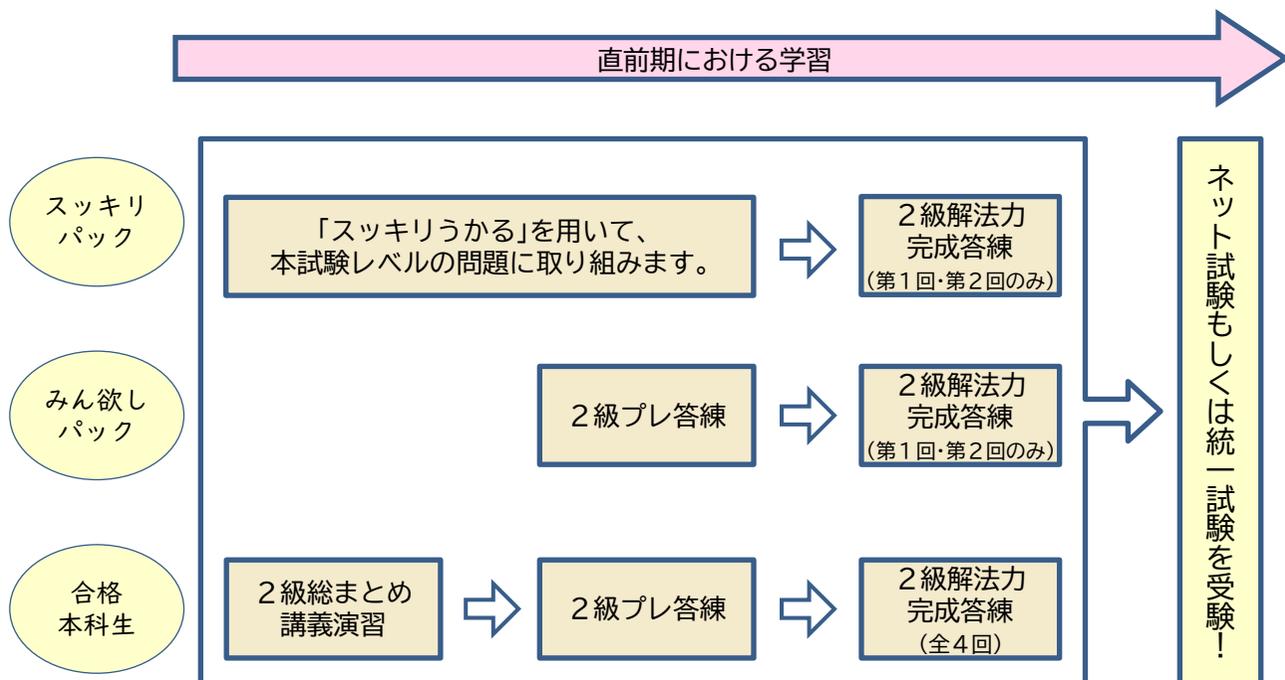
「2級みんな欲しパック」は、2級プレ答練、2級解法力完成答練(第1回・第2回のみ)を実施します。

「2級スッカリパック」は、2級解法力完成答練(第1回・第2回のみ)を実施します。

2級総まとめ講義演習では、学習した内容を問題形式であらためて振り返るとともに、解法手順の確認なども行います。

2級プレ答練は、各問いごとの解答手順の確認のみならず、制限時間(90分)における解答戦略なども考慮します。ネット試験対応模擬試験プログラムも用意しておりますので、TAC WEB SCHOOLにてご確認ください。

2級解法力完成答練は、まさに本試験レベルを想定した予想問題になります。統一試験であれネット試験であれ、どのような問題が出題されたとしても対応できるよう、全4回で幅広い論点を最終確認いたします。最初に解いた段階で得点が思うように伸びなかったとしても、復習を積み重ねることで点数が上がっていきますので、あきらめることなく最後の総仕上げを行いましょ。



### 3. 科目別攻略法

#### ☆商業簿記

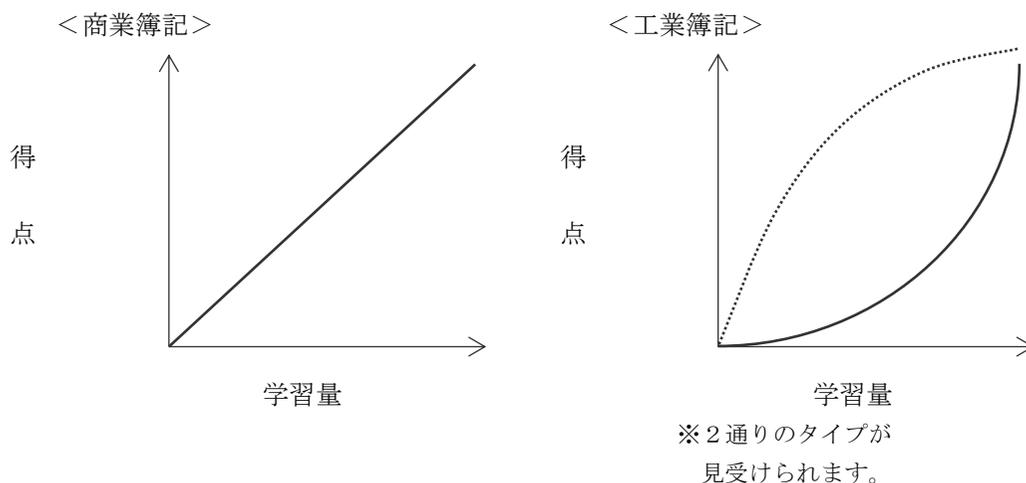
3級から学習した商業簿記ですが、2級商業簿記はさらに範囲が広がります。とはいえ、基本的な攻略法は3級と変わりません。各論点を一つずつ丁寧に習得しましょう。

「商品売買」「固定資産」「現金預金」などは3級の基礎知識をベースに、より広くより高く学習します。また、「有価証券」「リース取引」「税効果会計」「外貨建取引」「本支店会計」「連結会計」など新しい論点も登場します。実務ではどれも重要なものばかりですので、着実にマスターしましょう。

商業簿記は、かけた努力と得られる成果は比例しますので、講義で各論点を学習したら、テキストの復習とトレーニングの問題を解いていきましょう。知識として定着させていく繰り返しが最大の攻略法になります。

#### ☆工業簿記

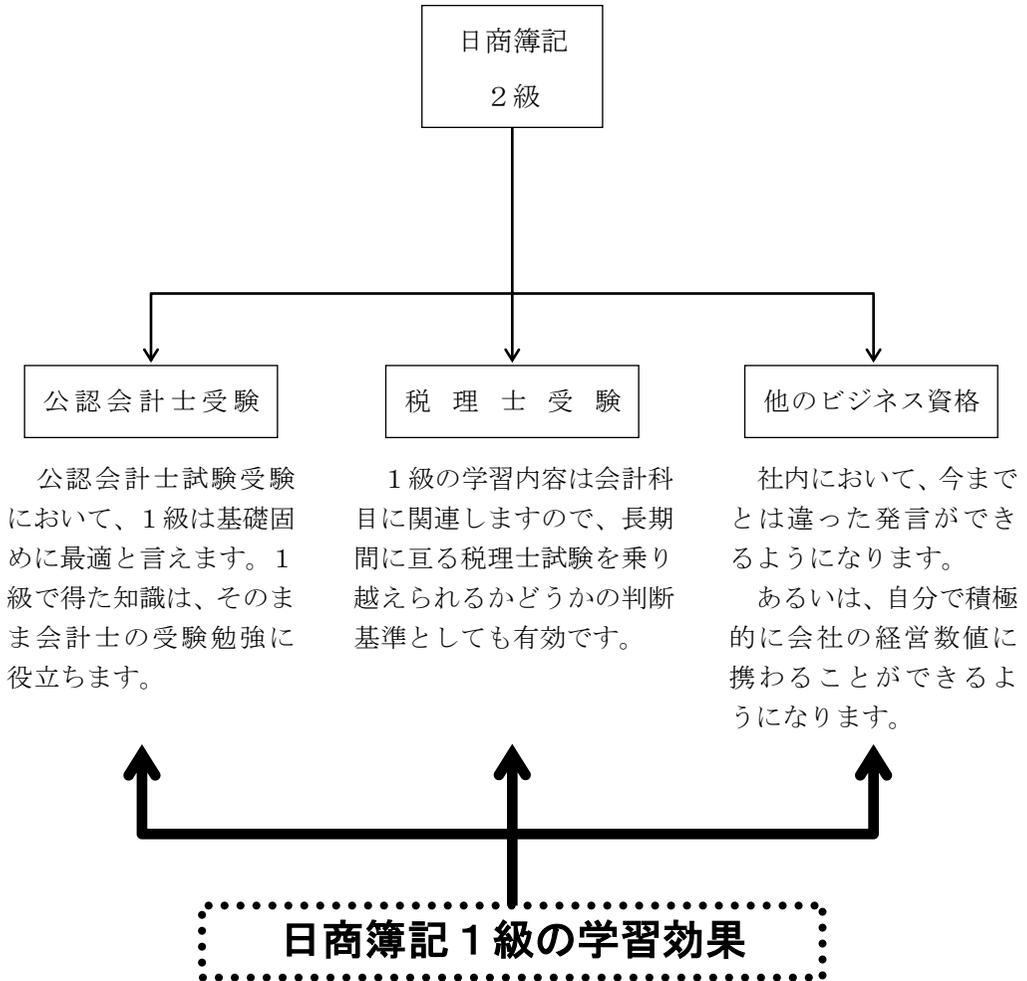
工業簿記は、2級ではじめて学習する範囲であり、最初はとっつきにくく感じるかもしれませんが、いったん得意になってしまえばあとは安定して得点が期待できる科目です。したがって、工業簿記を攻略するには、学習論点が“工業簿記全体の流れのどこに位置するのか”を常にイメージすることが大切です。地道に努力を続けていれば、ある日突然目の前の扉が開かれたように工業簿記が得意になるでしょう。ひとたび理解すれば高得点を取りやすい科目であるともいえるため、商業簿記の学習範囲の広さも考慮すると、「工業簿記を制するものが2級を制す」といえるでしょう。



#### 4. ステップアップ

2級の試験に合格後、そのままの勢いで1級までやってみようと思う方、税理士や公認会計士の学習をスタートしようと思っている方、あるいは、この知識を現在の仕事に活かそうと思っている方など、いくつもの選択肢が考えられます。

2級の知識があれば、公認会計士・税理士の学習を十分始められます。さらに1級の知識があれば、簿記に関する体系的知識を身につけることが可能です。



日商1級の学習内容は、公認会計士・税理士・他のビジネス資格へのより高い波及効果があります。また、実務にも役立つ広範囲の論点を学習しますので、修得した体系的知識は、大企業や上場会社でも大いに活用できます。

# 6 日商簿記検定 1 級の傾向と対策

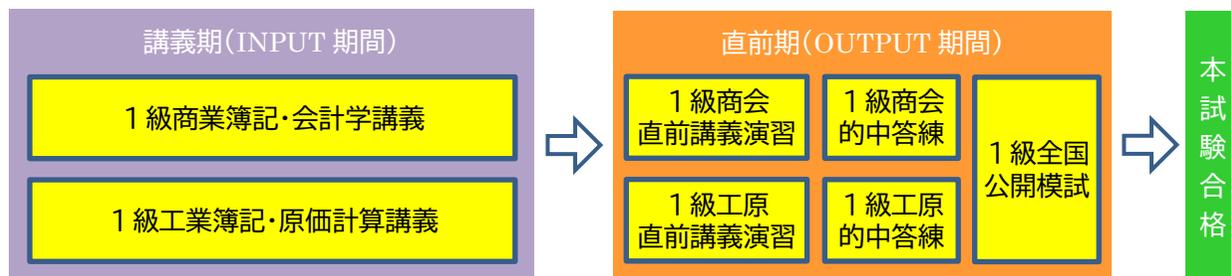
## 1. 出題傾向

商 業 簿 記 ・ 会 計 学	<b>商業簿記</b> (配点 25 点)	<p><b>決算総合問題、本支店会計、連結会計など</b></p> <p>商業簿記では、「個別会計（会社ごとの財務諸表を作成するための会計手続）の総合問題」が多く出題され、本支店会計や連結会計（企業集団の財務諸表を作成するための会計手続）の総合問題が出題される場合もあります。「個別会計の総合問題」に含まれる各論点としては、2 級までに学習済みの論点のほかに、1 級でこれから学習する論点の中でも次のような論点が特に多く出題されています。1 級の商業簿記では、2 級の総合問題（精算表や財務諸表作成の問題）の対策として重要な論点と、それらに関連して 1 級で追加学習する論点が多く出題されていることが分かります。</p> <p><b>【商業簿記の個別会計の総合問題でよく出題される論点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般商品売買（収益認識基準も含む）</li> <li>② 棚卸資産（売価還元法も含む）</li> <li>③ 特殊商品売買（委託販売など）</li> <li>④ 現金預金</li> <li>⑤ 貸倒引当金（一般債権・貸倒懸念債権・破産更正債権等）</li> <li>⑥ 有価証券 (売買目的有価証券・満期保有目的債券・子会社株式 ・関連会社株式・その他有価証券・減損処理など)</li> <li>⑦ 固定資産 (減価償却・リース取引・減損会計・資産除去債務・無形固定資産など)</li> <li>⑧ 税効果会計</li> <li>⑨ 社債（普通社債・買入償還・新株予約権付社債など）</li> <li>⑩ 引当金</li> <li>⑪ 外貨換算会計</li> <li>⑫ 退職給付会計</li> <li>⑬ 純資産会計</li> <li>⑭ 収益・費用の見越し・繰延べ</li> </ul> <p>(上記のうち、太字部分は 2 級商業簿記にて一部をすでに学習しています。)</p>
	<b>会 計 学</b> (配点 25 点)	<p><b>理論問題や個別論点の計算問題など</b></p> <p>会計学では、毎年のように新たに公表される会計基準等に準拠した問題が多く出題されています。類似論点や類似問題が繰り返し出題されることは少ないですが、「キャッシュ・フロー計算書」「包括利益計算書」「企業結合（連結会計を含む）」など、特殊な財務諸表を作成する問題は会計学で出題される傾向があります。</p>

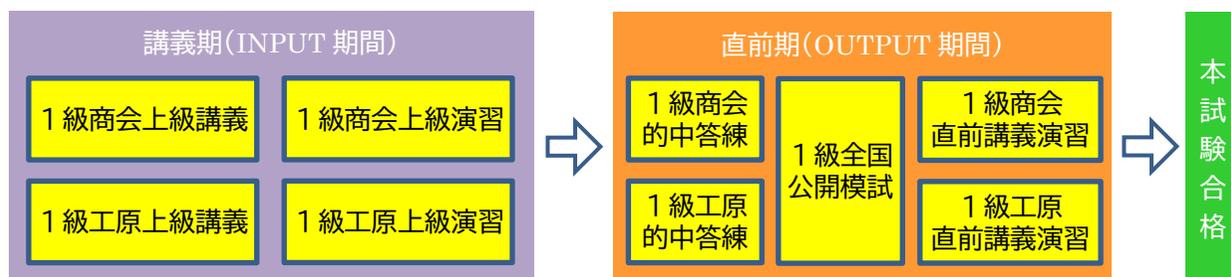
工業簿記・原価計算	工業簿記 (配点 25 点)	<p><b>財務会計からの出題が中心</b></p> <p>工業簿記では、財務会計の一環として「原価計算制度」からの出題が中心となっており、財務諸表に表示されるまでの一連の製品原価の計算が主な対象になります。「製品原価計算」の過程における数値や、その結果としての「勘定記入」、「財務諸表の作成」といった形式で問われることが大半です。具体的には、①費目別計算、②部門別計算、③実際総合原価計算、④標準原価計算などの論点はしばしば出題されており、特に重要です。いずれの論点にしても個々の計算ルールを正確に実践できることが必要となりますので、しっかりとした学習時間を確保することが重要となります。</p>
	原価計算 (配点 25 点)	<p><b>管理会計からの出題が中心</b></p> <p>原価計算では、ほぼ「管理会計」の分野からの出題となっており、経営管理に必要な「利益計画」「予算統制」「経営意思決定」「戦略的原価計算」に関する知識や計算能力が問われます。(ただし、まれに実際総合原価計算のような「財務会計」からの出題もあります。)管理会計のデータの大半は内部的なもので、外部に公表することを予定していないことから原価計算制度のようにルールに縛られることもありません。つまり確実な「型」はないということでもあり、臨機応変な対処能力が求められます。したがって、学習にあたっては、様々な事例を通じてこの分野に特有の思考プロセスを理解することに重点を置いてください。本試験では、①CVP分析、②最適セールス・ミックスの決定、③予算実績差異分析、④経営意思決定(業務的意思決定、設備投資の意思決定)⑤活動基準原価計算などが頻繁に出題されています。</p>

## 2. 対策

### ● 1 級合格本科生



### ● 1 級上級合格本科生



## (1) 講義期における学習

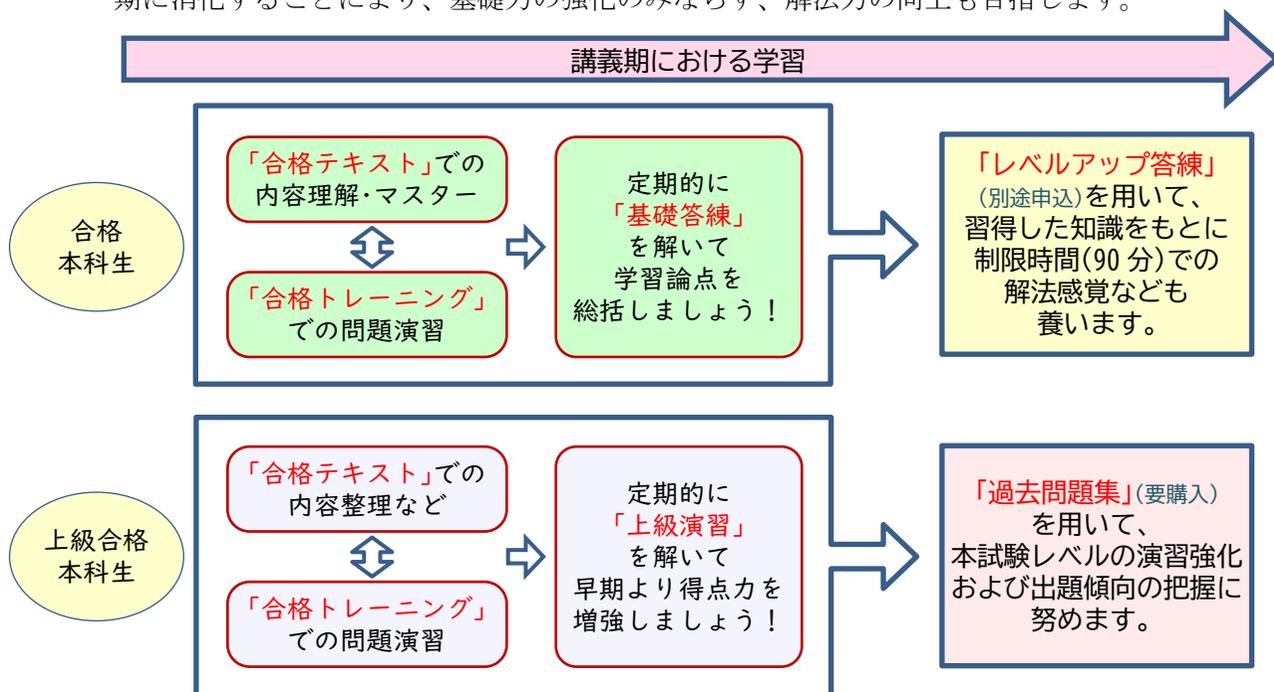
『1級講義』は商業簿記・会計学が全36回、工業簿記・原価計算が全33回になります。また、『1級上級講義』は商業簿記・会計学、工業簿記・原価計算いずれも全14回になります。講義では、いずれも「合格テキスト」を使用いたします。

簿記学習はINPUTとOUTPUTの繰り返しで学習を進めていきます。具体的には、まずは講義にご出席・ご受講いただき、内容を正しく理解します。そのうえで、トレーニングを用いて問題を数多く解くことにより、知識を定着させます。間違っただけ箇所につきましても、必ずテキストに立ち返って内容を再確認するようにしてください。このINPUTとOUTPUTの繰り返しを継続することにより、各論点を着実にマスターしていきましょう。

1級合格本科生では、前回講義の確認として「ミニテスト」を実施いたしますので、学習のペースメーカーとしてご活用ください。基本的な内容の確認になりますので、満点をとれるようにしましょう。また、定期的に「基礎答練」を実施いたしますので、その時点での総合問題解法に挑戦してみましょう。

なお、1級学習において学習期間が長く前半に学習した科目の内容をしっかりキープしておく必要もあります。「1級レベルアップ答練」は、その前半科目の基礎力維持および早期からの制限時間90分以内の問題演習にも取り組みますので、直前期を迎えるまでにしっかり取り組んでおきましょう(別途申込みが必要)。

また、1級上級合格本科生では、『1級上級講義』と並行して『1級上級演習』を実施いたします。『1級上級講義』では、問題資料の読取りや効率的な考え方など、より実践的に講義を進めていきます。『1級上級演習』では、本試験レベル相当の問題を早期に消化することにより、基礎力の強化のみならず、解法力の向上も目指します。



## (2)直前期における学習

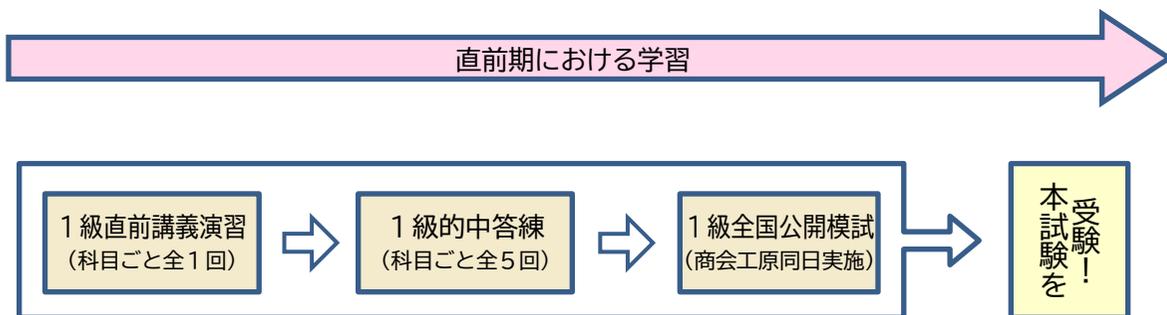
『1級直前期』は1級直前講義演習、1級的中答練、1級全国公開模試を実施します。

1級直前講義演習では、重要論点（商会）・基礎論点（工原）をあらためて確認するとともに、直前期の過ごし方などにも触れていきます。

1級的中答練は、本試験の出題予想にもとづき、本試験レベル相当の総合問題に挑戦いたします。正解を導き出すのみならず、制限時間内でどのように合格答案を作成すべきなのかという解答戦略もあわせて養います。得点分布表を作成し TAC WEB SCHOOL に掲載させていただきます。学習者全体の中の位置づけなどにも注視しましょう。

1級全国公開模試は、本試験完全準拠の最終模擬試験になります。本試験直前の総合判断と合格可能性の判定を実施し、直前期の追い込みへと繋がります。公開模試の受験が終わりましたら、的中答練を含め、残された期間内でしっかり復習し、本試験を万全の状態を迎えてください。

また、的中答練の消化の合間に、過去問題集にて過去既出問題を消化してみてもよいでしょう。本試験では、過去問題と同タイプの問題が出題されることもあり、過去問を解いた経験がそのまま活きる場合もあります。時間に余裕があれば、過去問題集にも挑戦してみてください。



## 4. 科目別攻略法

### (1) 商業簿記・会計学

商業簿記と会計学とは、出題形式（総合問題か個別問題か、計算問題か理論問題か）に違いが見られますが、出題論点に関しては、重複するものが非常に多いです。したがって、①論点ごとの学習段階では、まず、重要な論点について、その会計処理（仕訳、金額の計算方法、表示区分など）をしっかりと確認するようにしてください。②その際に、参考程度で構いませんので、関連する会計基準などを並行して読んでいただくと、より理解が深まります（理論問題のために暗記するのではなく、具体的な会計処理と関連するところを理解することを心掛けてください）。会計学の個別問題については、このように重要な論点ごとの学習をしっかりと行っていれば、十分な対策ができるはずです。③その次に、ある程度、論点ごとの学習が進んだら、定期的に総合問題を解いて練習するようにしてください。総合問題の場合には、1つの問題の中に様々な論点が入っているため、論点ごとの処理を行うために必要な資料や条件を探すのに最初のうちは、戸惑う方が多いと思います。論点ごとの会計処理を十分に理解していても、最初のうちは、中々、答案用紙を埋めるのに苦労すると思いますが、繰り返し練習することによって、解答スピードを徐々に上げていけるように心掛けてください。④最後に、もう少しだけ頑張れそうな方は、その他の特殊な論点について追加で確認するようにしてください。

商業簿記・会計学の対策では、学習する論点が多いため、まずは、重要な論点だけで十分に戦えるだけの知識と実践力を身につけることを優先して、余裕があれば、その他の細かい論点を追加するというような、メリハリのある学習を心掛けることが大切になります。

学習の優先順位	備 考
① 重要な論点の確認	会計処理（仕訳、金額の計算、表示区分など）を覚える。
② 会計基準を読む	暗記するのではなく、内容の理解を心掛ける。
③ 総合問題を解く	解き慣れることが重要。 分からないことが多い時は、①に戻る。
④ その他の論点の追加	特殊な論点が多いですが、会計処理は易しいものが多いので、余裕があれば確認しておきましょう。

なお、総合問題が苦手という方は、初心に戻って、合格テキストⅠの「テーマ1 商業簿記・会計学総論」などに戻って、財務諸表を作成するまでの手続きや作成上のルール（特に表示区分）をしっかりと確認してみましょう。

## (2)工業簿記・原価計算

工業簿記と原価計算については、出題傾向のところで示したように、基本的に原価計算目的（財務会計か管理会計か）の違いが出題科目に反映していると考えるのが分かりやすいでしょう。したがって、科目別攻略というよりも計算目的ごとに攻略を考えたほうが合理的です。

### ①製品原価計算（工原テキストⅠとⅡ）

本試験の工業簿記では、主に製品原価計算に関する各種論点が出題されます。この分野については、ほとんどの論点が2級工業簿記の延長線上にあるものの、1級ではその内容が格段に細かくなります。企業外部の利害関係者に対する財務報告に際して、財務諸表に表示する製品原価情報の入手を主たる目的とするため、基本的なルールを定めた「原価計算基準」に従って処理を行いますが、さらに、より理論的な処理方法や、原価管理や業績測定に役立つ処理方法など、押さえるべき内容は多岐に亘ります。

この分野では処理能力が得点に直結することから、学習方法は個々の処理方法を確実にマスターする（つまり、知識がある・計算ができる）ことに尽きます。それには学習量に勝るものはなく、テキストやトレーニングを反復学習することで処理能力を高めるほかにありません。その際、漫然と電卓を打つのではなく、製品原価の集計プロセスである勘定連絡を念頭に置きながら、論点と論点の繋がりを意識して学習することが理解を深めるうえでも大切です。

### ②管理会計（工原テキストⅢ）

本試験での原価計算は、ほとんどが管理会計に関する分野から出題されています。この分野は、企業が経営を円滑に遂行し、また、持続的発展を目指すために必要となる、企業内部における経営管理情報を入手することが目的です。ゆえに（外部報告のための）製品原価計算のように、一定のルールに従って処理を行うといった制約は基本的にありません。つまり、仮に問題の趣旨が同じであっても、形式が酷似するような問題はほとんどないのが特徴です。

したがって、解き方だけを真似て覚えるような勉強方法ではとうてい太刀打ちできず、問題ごとに出題意図を読み取れる読解力と、適切な処理手順が組み立てられる思考能力が備わっている必要があります。つまり、ある計算結果を得るためには、その前段階の計算が必要になり、またその計算には、関連する資料をどのタイミングで使用すれば良いかをその都度適切に判断できなければなりません。

このような実力は一朝一夕にはつきませんから、日頃から、個々の論点の学習に際してはテキストを熟読し、計算処理の背景にある概念や趣旨の理解を心掛けることが大切です。

卷末









友人・知人の方をご紹介ください!

TAC 簿記検定講座

# 1級 新規入会者紹介制度

適用コース

1級合格本科生・1級上級合格本科生  
(3級・2級対策のコースでは紹介制度は実施しておりません。) ※学習メディアは問いません。

特典

入会者・紹介者に  
電子マネーギフトプレゼント  
「選べるe-GIFT」  
¥3,000分



紹介者



新規入会者



TAC会員 (TAC・Wセミナー会員)  
(簿記検定講座以外の会員も可)

0から始まる10桁のTAC会員番号をお持ちの方

※在籍年度・在籍講座・在籍校舎・コースは問いません。  
※特番会員(9から始まるTAC会員番号)の方は、当制度はご利用いただけません。

申請方法

※複数名ご紹介いただく場合は、新規入会者おひとりにつき1回の申請となります。

STEP  
1

新規入会者紹介制度  
【紹介フォーム】から  
WEB申請する



STEP  
2

【紹介フォーム】入力後、  
返信メール\*が届く  
それを新規入会者へ転送する



\*紹介フォーム入力後、30分が経過しても返信メールが届かない場合、ご登録いただいたメールアドレスに誤りがあるか、迷惑メールに振り分けられている可能性があります。迷惑メールに振り分けられていない場合には、再度ご申請ください。

TAC 簿記検定講座の受講が初めての方

TAC簿記検定講座の1級本科生(通学・通信問わず)を  
新規でお申込みされる方

※過去に、TAC簿記検定講座を受講したことがある方は  
当制度はご利用いただけません。



STEP  
3

TAC簿記検定講座へ入会する  
入会手続きはどれでもOK  
e受付 TAC各校受付窓口 郵送

STEP  
4

紹介者から届いたメールにある  
【申込フォーム】からWEB申請する  
●入会手続き後、1ヵ月以内にご申請ください。

STEP  
5

新規入会者紹介制度【申込フォーム】申請後、  
申請日の翌月末までに紹介者・新規入会者  
それぞれに「選べるe-GIFT」が届きます



WEB  
で  
合格報告

TAC簿記検定講座・建設業経理士検定講座・ビジネス会計検定講座

# 合格した喜びの **声** をお寄せください!!

～合格体験記のご執筆希望もお待ちしています!～

合格された暁には、TAC講師へ、合格のご一報と喜びのメッセージをお寄せください! 皆様から合格のご一報をいただけることが、何よりTACの財産であり、講師にとっても今後の更なる指導への糧となりますので、合格の折には、是非皆様の合格の声をお聞かせください!

**皆様の合格の声をお待ちしております!**

合格報告 & 簡単なアンケートならコチラ

ココをクリック OR 合格体験記の執筆はコチラ

ココをクリック

ぜひ!

さらに「合格体験記」をご執筆いただいた方には「電子マネーギフト」の謝礼もご用意しています

簿記の知識を活かして  
新しい自分へ!

簿記の知識を活かして、次のステップへ進むための情報が満載のサイトです!

## 「NEXT STAGE 応援サイト」

簿記学習者のための  
NEXT STAGE  
応援サイト

知識を活かして新しい自分へ!



▶日商簿記上位級を目指す!

▶次の資格へチャレンジ!

TACネクストステージ

▶経理実務講座で経理実務を疑似体験! ▶簿記を活かした就職! 転職!

で 検索



人気のステップアップ資格については、TACホームページをご覧ください。各講座のパンフレットをご覧ください。

お問い合わせは  
TACカスタマーセンター

通話無料

0120-509-117

月～金 9:30～19:00 / 土日祝 9:30～18:00

# TAC 簿記検定講座

「本科生」で受講された方は

次のステップの  
受講料が**お得**になる!

# 日商簿記 ステップアップ 割引

受講

# 10% OFF!!

**e-uketsuke**  
受付  
TACお申込みサイト

②受付(インターネット  
申込)からも当割引制度  
を利用して申込可能!

※ご利用には条件があります。詳細は②受付サイト (<https://ec.tac-school.co.jp/>)  
の「割引について」をご確認ください。

## 利用可能な方

## 割引対象コース 簿記→簿記 or 簿記→他資格

### 簿記検定講座本科生

3・2級  
ステップ  
合格本科生

2級  
合格本科生

1級  
合格本科生

1級上級  
合格本科生

他資格の  
対象講座\*

3級合格本科生 / 3級合格本科生 PLUS

●

●

●

☆

●

3・2級ステップ合格本科生 (ロング)

—

—

●

☆

●

2級ダイレクト合格本科生

—

—

●

☆

●

2級合格本科生

—

—

●

☆

●

1級合格本科生

—

—

—

★

●

1級上級合格本科生 / 1級アドバンス合格本科生

—

—

—

—

●

☆マークはステップアップ割引が利用可能ですが、受験経験者向けのコースになりますのでご注意ください。

★「1級合格本科生」から「1級上級合格本科生」へのお申込みには、「再受講割引」をご利用ください。

※一部、日商簿記ステップアップ割引がご利用いただけない講座もございます。詳しくはTAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。

たとえば...

簿記検定講座 2級合格本科生

通学  
講座

83,000円

➔

74,700円

税理士講座 基礎マスター + 上級コース簿記論

教室  
講座

235,000円

➔

211,500円

## 利用可能回数

- 簿記検定講座本科生コースへのステップアップ割引のご利用には、利用回数の制限はございません。
- 簿記検定講座以外の講座へのステップアップ割引のご利用については、簿記検定講座本科生1コースにつき1回のご利用となります。なお、簿記検定講座本科生コースへのステップアップと併用してのご利用も可能です。

## 利用期限

- 簿記検定講座本科生コースへのステップアップ割引のご利用には、有効期限はございません。本科生受講期間中からご利用いただけます。
- 簿記検定講座以外の講座へのステップアップ割引の利用期間は、本科生受講期間中から受講された試験日標月最終日の翌年の同月最終日までとなります。

## 申込方法

- TAC受付窓口にてお申込みの場合は、受付備え置き「講座申込書」にご記入の上、「申込者ご本人様の簿記検定講座本科生会員証」とともに受付窓口までご提出ください。お申込み時に、当割引制度利用の旨、お申し出ください。
- 郵送でのお申込みの場合は、
  - 各講座のパンフレット内の「講座申込書」
  - 「申込者ご本人様の簿記検定講座本科生会員証の写し(コピー)」
  - 「受講料振込控え」をTACまでご郵送ください。入金額につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。  
※上記①の申込書の割引額に10%割引額をご記入ください。
- インターネットでのお申込みの場合は、  
②受付 (<https://ec.tac-school.co.jp>) より「②受付登録」をクリックし、TAC会員認証後にご希望のコースをご選択いただくと日商簿記ステップアップ割引が反映されます。

## 注意事項

- 簿記検定講座本科生コース受講の方のみ利用可能な割引制度です。
- 簿記検定講座単科・バック受講の方は対象外です。
- 上記受講料は教材費・消費税10%を含みます。

- 株主優待制度、NEXT割引、法人割引、再受講割引などの割引制度とステップアップ割引の併用はできません。
- 大学生協等代理店では、日商簿記ステップアップ割引を利用してお申込みいただくことはできません。
- お申込みの際は、各資格講座パンフレットも合わせてご確認ください。

有効期限：2027年12月31日まで

ご存知ですか? TAC会員なら受講料が5%OFF!

# NEXT割引 | 5% OFF

こんな人に  
オススメ

- 学習した知識を活かしダブルライセンスを狙いたい
- 上位資格をめざし更なるステップアップをしたい
- 時間の確保ができる今新たな資格に挑戦したい

TACでは、他の資格に意欲的に挑戦する受講生の方々を応援します。当割引制度は、次の資格講座を受講する際に通常受講料の5%OFFでお申込みできる制度です。多くのTAC会員が活用している当制度をぜひご利用ください。

お申込みは受付窓口または  **受付** で!  
TACお申込みサイト

## 対象者・ 対象コース

- 「0」または「9」で始まる10桁の会員番号をお持ちのTAC会員の方で、且つ2014年4月1日以降のTACのお申込履歴がある方が対象となります。
- NEXT割引は各資格講座の各受講メディアの「本科生」「パック生」「コース生」を対象とさせていただきます。NEXT割引の対象になるかどうか不明の場合は各校受付窓口へ直接お問い合わせください。

## 利用方法

- 各校受付窓口でお申込みされる際は、会員証をご持参ください。
- e受付でお申込みされる際は、登録手続きが必要となります。また、割引適用には条件があります。詳細はe受付サイトの「割引について」をご確認ください。
- 郵送でお申込みされる際は、必ず会員証のコピーを封書に同封してください。

## 注意事項

※同一講座内の再受講や継続受講で当割引制度を利用することはできません。またTACで実施する他の割引制度との併用はできません。なお、「早期申込割引」などの、どなたでもご利用いただける期間限定の「キャンペーン受講料」との併用は可能です。

※NEXT割引の対象者および割引率は、予告なく変更となる場合がございます。

※すでにお申込みされた講座・コースについて、遡っての返金等の対応はいたしかねます。

資格の学校 **TAC**

2021年10月現在

# ❖ お問い合わせ先一覧 ❖

「TAC利用ガイド」「講座別受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。

なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

お問い合わせ窓口一覧

<https://www.tac-school.co.jp/toiawase>

⇒



よくあるご質問

<https://faq.tac-school.co.jp/support/list/web/index.html>

⇒



お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間※
教材内容、学習内容の質問に関して	通学メディア・通信メディア共通編「 <b>5</b> 質問・相談について」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOL の操作方法に関して	0120-065-355	月～土・祝 10:00～17:00 ※日曜休業
通信講座の教材発送（発送日確認、落丁お取替え）に関して	0120-509-194	
通信添削答案提出状況、教育訓練給付制度提出対象答案に関して	03-5276-8534	月～金 10:00～17:00 ※土日祝日休業
受講申込に関して	各校受付 TAC MAPを参照してください。  ※インターネット申込はこちら <a href="https://ec.tac-school.co.jp/">https://ec.tac-school.co.jp/</a>	※校舎により営業時間が異なります。 詳細は各校舎のHPをご確認ください。
TAC出版書籍のご購入に関して	TAC出版「オンラインストア」 <a href="https://bookstore.tac-school.co.jp/">https://bookstore.tac-school.co.jp/</a>	—

※電話による学習内容の質問は受け付けておりません。

※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。